



公益財団法人長野県テクノ財団

令和3年度事業報告

令和4年5月

公益財団法人長野県産業振興機構

目 次

令和3年度事業体系	1
法人運営	2
本部事業	5
地域センター事業	
(1) 善光寺バレー地域センター	17
(2) 浅間テクノポリス地域センター	23
(3) アルプスハイランド地域センター	29
(4) 諏訪テクノレイクサイド地域センター	35
(5) 伊那テクノバレー地域センター	41

令和3年度事業体系

本部

I 産学官交流事業

事業名
産学官金連携支援事業
信州ITバレー推進協議会事業
医工連携コーディネート事業
薬事相談・人材育成プログラム構築支援事業
先進的クラスター連携強化事業
コーディネータ資質向上事業
事業件数 6件

善光寺バレー地域センター

事業名
善光寺バレーコラボネット
善バレミニ学会
公設試験研究機関研究成果普及事業
事業件数 3件

浅間テクノポリス地域センター

事業名
浅間幹部技術者交流フォーラム
事業件数 1件

アルプスハイランド地域センター

事業名
アルプス広域コーディネータ連携事業
大学・高専・企業との産学官連携交流事業
事業件数 2件

諏訪テクノレイクサイド地域センター

事業名
広域産学官交流ネットワーク事業
諏訪圏工業メッセ2021事業
圏域内アドバイザー・コーディネータ連携事業
事業件数 3件

伊那テクノバレー地域センター

事業名
伊那谷アグリイノベーション推進機構連携事業
次世代経営者による異業種交流会
事業件数 2件

II 新産業創出支援事業

事業名
(健康・医療分野への展開事業)
医療機器等開発相談支援事業
有用微生物応用事業
大学連携強化事業
プロデューサーによる事業化促進事業
(環境・エネルギー分野への展開事業)
環境負荷低減等に向けた革新的材料技術活用促進事業
半導体・実装技術推進事業
次世代パワーエレクトロニクス事業化促進事業
ゼロカーボン技術開発促進事業
(次世代交通分野への展開事業)
航空宇宙産業集積促進事業
航空宇宙産業クラスター形成事業
航空機産業支援機能強化事業
(IT技術分野への展開事業)
ITビジネスコンソーシアム支援事業
AI・IoT等先端技術利活用支援事業
事業件数 13件

事業名
コーディネート活動事業
地域エネルギー利用技術研究会
ながの地域「水素エネルギー技術研究会」
新たな金属積層造形技術研究会
地域産業活性化支援事業
事業件数 5件

事業名
コーディネート活動事業
地域産業革新活動支援事業
感性応用計測研究会
AI・IoT活用研究会
事業件数 4件

事業名
コーディネート活動事業
アルプスイノベーション研究会事業
「旬」の技術研究会事業
松本地域産業活性化事業
中南信自動化支援事業
事業件数 5件

事業名
コーディネート活動事業
DTF研究開発事業
材料研究開発事業
環境・エネルギー技術研究開発事業
事業件数 4件

事業名
コーディネート活動事業
信州機能性食品開発研究会
伊那バレー・オープンイノベーション事業
スマート看護・福祉研究会
事業件数 4件

III 共同研究等推進事業

事業名
研究開発費獲得支援事業
財団コーディネート活動支援事業
共同研究開発交流支援事業
医療機器重点プロジェクト推進事業
令和3年度医療機器開発等支援補助事業
令和2年度医療機器開発等支援補助事業
航空機産業参入企業受注獲得支援事業
コンソーシアム活用型ITビジネス創出支援事業
ゼロカーボン技術事業化促進事業
事業件数 9件

事業名
提案公募型等研究開発プロジェクト導入支援事業
提案公募型等研究開発プロジェクト運営事業 (サポイン継続 2件)
提案公募型等研究開発プロジェクトフォローアップ事業 (サポイン他 補完2件)
事業件数 3件

事業名
提案公募型等研究開発プロジェクト導入支援事業
提案公募型等研究開発プロジェクトフォローアップ事業 (サポイン補完 5件)
事業件数 2件

事業名
提案公募型等研究開発プロジェクト導入支援事業
事業件数 1件

事業名
提案公募型等研究開発プロジェクト導入支援事業
提案公募型等研究開発プロジェクト運営事業 (サポイン継続 1件)
提案公募型等研究開発プロジェクトフォローアップ事業 (サポイン 補完1件)
事業件数 3件

事業名
提案公募型等研究開発プロジェクト導入支援事業
提案公募型等研究開発プロジェクト運営事業 (サポイン継続 3件)
提案公募型等研究開発プロジェクトフォローアップ事業 (サポイン 補完6件)
事業件数 3件

IV 国際展開支援事業

事業名
国際ネットワーク構築・技術交流事業
国際連携ネットワーク強化事業
国内外の医療機器関連展示会出展支援事業
航空宇宙産業関連国内外の展示会出展支援事業
事業件数 4件

事業名
事業件数 0件

事業名
事業件数 0件

事業名
事業件数 0件

事業名
事業件数 0件

事業名
事業件数 0件

V 人材育成事業

事業名
医療機器人材の開発力向上事業
グローバル展開実践カレッジ
航空宇宙産業人材育成事業
航空機部品品質保証力等強化事業
事業件数 4件

事業名
善バレー・ハイテクセミナー
応用機械設計研修プログラム
IoT入門基礎研修プログラム
子供のつくり科学教室
事業件数 4件

事業名
“浅テク・ハイテクセミナー”シリーズ
マネジメントシステム改善研究会
若手技術者養成講座
子供科学技術教室(ロボコン)
事業件数 4件

事業名
技術者のための実務教育パワーアップ講座事業
地域企業人材挑戦力育成事業
「価値づくり力」パワーアップ講座事業
夏休み親子ものづくり教室事業
事業件数 4件

事業名
幾何公差実践研究会
品質工学研究会
環境対応技術研究会
新商品開発・製品サービス研究会
事業件数 4件

事業名
地域産業活性化支援事業
伊那テク・ハイテクセミナー
ロボット導入支援事業
リサイクルシステム研究会
子ども科学工作教室
事業件数 5件

VI 広報等事業

事業名
情報発信サービス充実事業
研究開発成果等情報発信・普及拡大事業
他団体の支援・後援等
事業件数 3件

事業名
メルマガ「善バレニュース」の配信
事業件数 1件

事業名
ホームページ、Eメール等による情報配信
事業件数 1件

事業名
情報発信サービス事業
事業件数 1件

事業名
情報交流、提供事業
事業件数 1件

事業名
情報発信サービスの充実
事業件数 1件

事業件数計 39件

事業件数計 16件

事業件数計 12件

事業件数計 13件

事業件数計 15件

事業件数計 15件

総事業件数計 110件
総参加者数 7,666名

法人運営

I 理事会の開催

開催期日	場 所	議 決 事 項 等
3. 4. 12	長野市	理事会（決議の省略） ・評議員会の日時及び場所並びに目的である事項等の決定について
3. 6. 2	長野市	理事会 ・令和2年度事業報告の承認について ・令和2年度収支決算の承認について ・吸収合併存続法人の合併後の名称について ・定時評議員会の日時及び場所並びに目的である事項等の決定について ・理事の利益相反取引の結果について（報告事項） ・吸収合併後に向けた定款の見直しの概要について（報告事項） ・令和3年3月以降の職務執行状況について（報告事項）
3. 7. 1	長野市	理事会（決議の省略） ・評議員会の日時及び場所並びに目的である事項等の決定について
3. 7. 28	長野市	理事会（決議の省略） ・令和2年度収支補正予算（案）の承認について
3. 9. 29	長野市	理事会 ・公益財団法人長野県中小企業振興センターとの合併に係る変更認定申請の承認について ・令和3年度収支補正予算の承認について ・評議員会の日時及び場所並びに目的である事項の決定について ・公益財団法人長野県中小企業振興センターとの合併協議の進捗状況について（報告事項）
4. 3. 1	長野市	理事会 ・評議員会の日時及び場所並びに目的である事項の決定について ・令和4年度事業計画（案）の承認について ・令和4年度収支予算（案）の承認について ・令和4年度資金調達及び設備投資の見込みの承認について ・公益財団法人長野県テクノ財団の組織及び運営に関する規則の全部改正について ・公益財団法人長野県テクノ財団資産運用規則の一部改正について ・公益財団法人長野県テクノ財団理事会運営規則の全部改正について ・公益財団法人長野県テクノ財団情報公開規則の一部改正について ・公益財団法人長野県テクノ財団個人情報の保護に関する規則の全部改正について ・令和3年度収支補正予算（案）の承認について ・理事の利益相反取引の結果について（報告事項） ・令和3年度6月以降の職務遂行状況について（報告事項）

II 評議員会の開催

開催期日	場 所	議 決 事 項 等
3. 4. 23	長野市	評議員会（決議の省略） ・理事の選任について

開催期日	場 所	議 決 事 項 等
3. 6. 17	長野市	定時評議員会 ・令和２年度の貸借対照表、正味財産増減計算書及び財産目録の承認について ・令和２年度事業報告について（報告事項） ・公益財団法人長野県中小企業振興センターとの合併に係る経過及び今後のスケジュールについて（報告事項）
3. 7. 12	長野市	評議員会（決議の省略） ・定款の一部変更の承認について
3. 10. 20	長野市	評議員会（決議の省略） ・評議員の選任について
4. 3. 10	長野市	評議員会（決議の省略） ・合併契約の承認について ・公益財団法人長野県テクノ財団定款の一部改正について ・公益財団法人長野県テクノ財団役員等の報酬並びに費用に関する規則の一部改正について ・公益財団法人長野県テクノ財団評議員会運営規則の全部改正について ・理事の選任について ・補欠の評議員の選任について ・会計監査人の選任について

Ⅲ 公益財団法人長野県中小企業振興センターとの合併について

令和２年２月、長野県が設置した産業支援体制の在り方検討会の「長野県の産業支援体制の在り方について」とする報告書がまとまり、関係機関に通知された。この報告書では、「県内企業が経営革新や技術革新による事業の高度化や新たな事業展開を進められるよう、人材育成、技術開発から販路開拓まで一貫したサポート体制や県内外の適切な機関等をつなぐ体制の構築が必要であるとして、当財団（以下「テクノ財団」という。）と公益財団法人長野県中小企業振興センター（以下「振興センター」という。）との一体的配置及び支援機能の再構築による総合支援拠点化が提起された。

以降、長野県産業労働部とともに、その具体化に向けた議論が進められ、合併に係る基本的事項について各々の機関決定を経て、令和３年３月２３日、テクノ財団を吸収合併存続法人、振興センターを吸収合併消滅法人とする合併契約に調印した。

令和３年度は、合併により目指す姿とする「シンプル＆スピーディ＝産業の総合支援拠点化」の実現に向けて、重複する機能や事業等の整理・統合を図り、技術開発から販路開拓まで一貫したサポートを実現するための組織・人員体制や事業の再構築への議論を深めてきたところである。

１０月には、公益目的事業の種類及び内容の変更に係る変更認定を申請し、１２月１日その承認を得た。

合併後は、名称を「公益財団法人長野県産業振興機構」へと変更し、「総務企画本部」、「新産業創出支援本部」、「経営支援本部」の３本部体制とするとともに、各本部間の調整や県内産業支援機関との連携を促進するため、総務企画本部に企画連携部を設置したところである。これからは、「センターオブ支援機関」としての機能も強化しつつ、支援機関のサポート体制を充実する。

令和４年４月１日、長野県における産業支援の中核的な拠点として、公益財団法人長野県産業振興機構がスタートした。

【合併契約調印から合併までの経過】

期 日	事 項	主 な 内 容 等
3. 3. 23	合併契約の締結	・吸収合併存続法人…テクノ財団 ・吸収合併消滅法人…振興センター ・合併効力発生…令和4年4月1日
3. 6. 1	振興センター理事会	・合併後の名称の承認、定款見直しの概要
3. 6. 2	テクノ財団理事会	・合併後の名称の承認、定款見直しの概要 報告
3. 6. 16	振興センター定時評議員会	・今後のスケジュールの報告
3. 6. 17	テクノ財団定時評議員会	・今後のスケジュールの報告
3. 7. 10	テクノ財団評議員会（書面）	・定款の一部改正（補欠の評議員の選任規定、 公告方法を電子公告に変更）
3. 9. 2	新財団のロゴマークの公募開始	
3. 9. 28	テクノ財団臨時理事会	・変更認定申請の承認
3. 10. 1	変更認定申請書提出	・公益目的事業の目的と種類の変更
3. 11. 16	テクノ財団アルプスハイランド 地域協議会	・地域協議会の廃止の決定 ・新財団への要望、意見の聴取
3. 11. 17	テクノ財団諏訪テクノレイクサ イド地域協議会	・地域協議会の廃止の決定 ・新財団への要望、意見の聴取
3. 11. 19	テクノ財団浅間テクノポリス地 域協議会	・地域協議会の廃止の決定 ・新財団への要望、意見の聴取
3. 11. 19	公益認定等審議会	
3. 11. 29	テクノ財団伊那テクノバレー地 域協議会	・地域協議会の廃止の決定 ・新財団への要望、意見の聴取
3. 11. 30	テクノ財団善光寺バレー地域協 議会	・地域協議会の廃止の決定 ・新財団への要望、意見の聴取
3. 12. 1	変更認定の承認通知	
4. 1. 11	新財団のロゴマークの決定	
4. 1. 25	吸収合併契約に関する書面等の 備置・閲覧の開始	（～効力発生後6か月間）
4. 1. 25	合併公告（官報公告）	
4. 1. 26	債権者催告（電子公告）	・公告期間（R4. 1. 26～R4. 2. 25）
4. 3. 1	テクノ財団理事会	・合併後の事業計画、収支予算の承認 ・規則改正案の承認 他
4. 3. 1	振興センター理事会	・合併後の事業計画、収支予算の報告
4. 3. 10	テクノ財団臨時評議員会	・合併契約書の承認、定款変更他
4. 3. 11	振興センター臨時評議員会	・合併契約書の承認
4. 4. 1	合併効力発生	

本 部 事 業

I 産学官交流事業

1 産学官金連携支援事業

長野県の経済発展を目指して国から選定された拠点計画と地域戦略の円滑な推進を確保し、関係機関相互の情報共有及び連携強化を図るため、長野県産学官連携協議会実務者会議を開催した。

開催期日	場 所	内 容	参加者
3. 4. 20	長野市	・長野県産学官連携協議会設置要綱の改正について ・共創の場形成支援プログラムについて ・コアファシリティ構築支援プログラムについて	16

2 信州 I T バレー推進協議会事業

「信州 I T バレー構想」の実現に向け、構想の推進体制となっている「信州 I T バレー構想推進協議会（N I T）」の運営、プロジェクトの支援及び構想に係るイベントを実施した。【協議会構成員 52 機関（R4. 3. 31 時点）】

また、信州 I T バレー構想の周知、取組内容の P R 等を国内外の I T 人材・企業や I T を活用したビジネス創出を目指すユーザ企業等に対して効果的に行うため、信州 I T バレー推進協議会 W E B サイトにより情報発信を行った。

（1）信州 I T バレープランシェアカフェ（協議型）

構成員が自ら企画している具体的な事業計画を発表・提案し、様々な視点からアイデアをもらい、より効果的な取組に磨き上げる場を設けた。（オンライン開催 計 5 回）

実施日	内 容	参加者
3. 5. 12	・令和 3 年度の事業内容について	28
3. 7. 20	・コンソーシアム活用型 IT ビジネス創出支援事業の採択状況について	27
3. 9. 27	・NIT 事務局による IT 企業訪問の実施状況について	22
3. 11. 26	・国の施策情報等について	27
4. 2. 1	・県の予算要求等の概要について	26
4. 3. 29	・れいわ 4 年度の予算・スケジュールについて	20

（2）NIT 事務局による県内 IT 企業訪問

県内で活動している IT 企業（主に中小企業、スタートアップ）を訪問し、現場の声を直にきくことで、県や信州 I T バレー協議会で実施する施策のより良い企画・策定に繋げるために実施した。（訪問企業数 48 社）

3 医工連携コーディネート事業

（1）信州医療機器事業化開発センターの体制整備

< 支援体制 >

本部	・名誉センター長（非常勤） 池野 文昭（スタンフォード大学） ・センター長（財団事務局長兼務） ・次長（県派遣職員） ・医工連兼プロジェクトマネージャー 櫻井 和徳（元電子機器メーカー）
----	--

信州大学 オフィス	・信州大学オフィス長 杉原伸宏氏 (学術研究・産学官連携推進機構学術研究支援本部長兼務) ・コーディネータ【医工連携】木下 幸彦(元医薬品メーカー) ・コーディネータ【資金獲得・VB支援】角田 哲啓(ファンディングエージェンシーOB) ・アドバイザー(非常勤)【薬事戦略】池田 浩治 (東北大学、元(独)医薬品医療機器総合機構(PMDA)) ・アドバイザー(非常勤)【薬事戦略】鈴木 由香 (東北大学、元(独)医薬品医療機器総合機構(PMDA)) ・アドバイザー(非常勤)【保険収載戦略】田中 俊博 (医薬品・医療機器・体外診断薬コンサルタント、元厚生労働省)
--------------	---

＜国内におけるネットワークの構築＞

東北大学病院臨床 研究推進センター	PMDAの医療機器審査官のOBをはじめとする薬事・知財等の専門家が揃い、研究のアイデア段階から非臨床試験、企業との連携や知財管理・技術移転、臨床試験、承認審査、実用化までのあらゆる段階での支援を通じた医療機器開発を促進する体制が整備されており、当該センターとのネットワークの構築に取り組み、講師等をセミナー等に派遣していただいた。
地方独立行政法人 長野県立病院機構	医療従事者や患者のニーズを県内ものづくり企業に提供することで、医療現場の課題解決に資する新たな医療機器等の開発・改良につなげることを目的に、当該機構とのネットワーク構築に取り組み、手術現場や病棟の看護現場等、通常では立ち入ることが難しい現場へ、コーディネーターによる視察ができるよう連携体制を構築した。

4 薬事相談・人材育成プログラム構築支援事業

(1) 薬事承認・資金獲得戦略支援事業

- ・薬事戦略に係る相談件数 1件
- ・保険収載に係る相談件数 3件
- ・資金獲得戦略に係る支援企業数 4社

(2) 信州大学医療機器人材育成プログラム

県内ものづくり企業における医療機器開発のリーダーとなりうる人材を育成することを目的に、医療機器開発を進める上で必要となる法規制等の基本的な知識や開発手法、医学的な基本概念なども学べる人材育成プログラムを構築した。プログラムの構築にあたっては、信州大学へプログラムにおけるコンテンツ作成を委託した。

5 先進的クラスター連携強化事業

航空機産業における先進地域の一つである石川県の航空機産業クラスターを視察し、県内企業2社を訪問した。長野県内の航空機産業クラスターとの連携を模索し、今後、講演等で連携を図っていくこととなった。

6 コーディネータ資質向上事業

財団内外のコーディネータ活動に携わる職員が、次年度の研究開発支援制度に関する情報収集を行い、県内企業がサポイン等の支援制度を効果的に活用して技術高度化に取り組むことを円滑に支援できるようにするための財団内コーディネータ研修を実施した。

開催期日	場 所	内 容	参加者
3. 4. 21	長野市	工業技術総合センター事業計画説明会・3D研究拠点内覧	24
3. 4. 26	松本市	「第1回 コーディネータ研修会」 ・財団業務等に関して ・環境・情報技術部門 視察	25
3. 6. 14	長野市	統合後のホームページ作成に関する説明会	31

3. 7. 2	長野市	スキルアップ研修会 若里庁舎支援機関それぞれの企業支援スキル発表	27
3. 8. 30	長野市	「サポイン事務支援内容の説明」 講師 伊那テクノバレー地域センター コーディネーター マネージャー 唐木 栄二	40
3. 5. 11～ 3. 9. 14	メール 配信	「コーディネータ Information」第1回	35
3. 10. 5～ 4. 2. 8	メール 配信	「コーディネータ Information」第2回	33
3. 5. 26～ 3. 10. 27	ZOOM 配信	Techno Information Channel (TIC)	延べ 380

II 新産業創出支援事業

今後成長が期待される新産業分野（「健康・医療」、「環境・エネルギー」、「次世代交通」）への県内企業の積極的な参入を促進するため、当該分野における産業イノベーションにつながりうる研究開発プロジェクトへの重点的な支援や関連産業・技術の動向調査、市場ニーズと技術シーズのマッチング、各種研究会の開催等の事業を実施した。

1 医療機器等開発相談支援事業

開発製品の材料選択や試験方法、医療機器の該当性、クラス分類や一般的名称の妥当性など、医療機器開発における企業の様々な問題・課題等を総合的にアドバイスできる専門人材をアドバイザーとして登録し、次のとおり5件の相談支援を実施した。

＜登録アドバイザー＞

No.	氏名	勤務先	役職	専門
1	宮坂 強	サムエルプランニング株式会社	代表取締役	医療機器の開発、マーケティング、事業開発など
2	萩原 敏彦	合同会社医療機器安全研究所	所長	医用電気機器の安全、リスクマネジメント、電磁妨害、ユーザビリティ、アラームシステム、ソフトウェアなど
3	高橋 靖裕	テルモ株式会社	旧愛鷹工場技術部責任者	医療機器製造に関する生産設備の開発、設計。医療機器製造業許可取得に伴う外部移管業務。工場総体の生産活動の生産性向上。5S,TPM 活動の推進など
4	山室 雅嗣	株式会社エスプリ	代表取締役	事業開発・サービス開発、価値設計・世界観設計、プロジェクトマネジメント、イノベーションコンサルティング
5	山越 淳	名古屋国際特許業務法人	弁理士／行政書士	医薬品医療機器等法に関する手続（承認、認証申請手続等）、及びQMS省令に基づく社内体制構築に対する助言など 特許、実用新案、意匠、商標などの知的財産権
6	池野 文昭	スタンフォード大学	循環器科医師	医療研究、起業家教育、医療機器分野のベンチャー投資、医療機器企業へのアドバイス

2 有用微生物応用事業

近年、発酵に係る微生物から新たな機能性が発見されたことで発酵食品としてばかりではなく、化粧品・食品・医療品分野等への応用も可能になってきた。

信州は伝統的な発酵食品の宝庫であることから豊かな地域資源を活用し、新たな産業を創出す

るために立ち上げた「バイオリソース研究会」の活動を推進した。

＜バイオリソース研究会＞

これまでの長崎大学との研究成果を基に、微生物に係る特許出願を実施した。

3 大学連携強化事業

発酵食品・機能性食品産業集積事業（長野県ものづくり産業振興プラン 2018～2022 年度）

醸造蔵に存在している多くの有用な微生物を地域遺伝資源として菌の科学的な解明を行い、これを活用した新商品開発等を活性化させることで発酵食品・機能性食品産業の集積形成を図ることを目的としたプロジェクトを推進し、機能性を生かした新商品の開発を目指した。

＜地域遺伝資源活用新商品開発コンソーシアム定例会・新商品開発検討会－Web 会議＞

開催期日	場 所	内 容	参加者
3. 6. 30	長野県 工業技術 総合センター	・令和2年度の研究実績報告 ・令和3年度の実施計画 ・有用菌の商品化（活用、知的財産の権利化等）に係る方針・方法について ・今後の予定について	31
3. 11. 25	長野県 工業技術 総合センター	・チームの概要について ・チームで支援する有用菌の選定について ・有用菌別の商品化方針について ・研究結果のプレスリリース案について ・知財合意書案について	20

4 プロデューサーによる事業化促進事業

長野県及び財団がこれまでに支援してきた医療機器開発等の案件の中から、その事業化戦略策定や上市・販路拡大等のプロデュース支援を行う支援先企業3社を選定し、日本医工研究所のアクセラレーターと支援先企業において複数回のミーティングを通して、次のとおり事業化戦略を策定し、上市・販路拡大等に必要なプロデュース支援を実施した。

5 環境負荷低減等に向けた革新的材料技術活用促進事業

環境負荷低減等に資する材料技術を活用した事業の創出を目指し、産学官連携体制によるコンソーシアムを構築。コンソーシアムにより専門家の助言のもと県内の有望な技術シーズを事業化するためのプロジェクトを選定し、事業化へ向けた支援を実施した。

ア 支援体制の構築

産学官が連携した持続的にイノベーションを創出するため、「長野県エコマテリアル技術活用協議会」を開催した。

開催日	場所	構 成 員
3. 10. 7	長野県 工業技術 総合センター	・一般社団法人長野県経営者協会 次長 梶田 能孝 氏 ・国立大学法人信州大学 副学長兼理事 不和 泰 氏 ・長野県産業労働部 産業技術課長 庄村 栄治 氏 ・公益財団法人長野県テクノ財団 専務理事 沖村 正博

イ 支援の実施

（ア）製品開発プロジェクトの支援

協議会にて採択した製品開発プロジェクト3件に係る市場調査及び具体的支援を実施。戦略的基盤技術高度化支援事業への申請及び実証実験の資金支援を実施した。

（イ）ニーズピッチイベント

県内事業者の抱える技術課題を解決するため、技術課題を研究者へ向けプレゼンテーションを行うイベントを開催した。

開催期日	場 所	発 表 者	視聴者
3. 12. 24 ～4. 1. 21	オンライン	シナノケンシ（株）2 テーマ	延べ 299

6 半導体・実装技術推進事業

様々な電子機器の差別化、高付加価値化を図るため、半導体製造・実装技術の開発を推進し、産業の強化を図るとともに、長野県独自の IC 設計開発プラットフォームを構築し、県内企業の新ビジネス創成を支援した。

また、次世代半導体技術の動向を捉え、新たな半導体デバイスの開発に繋げるため、関係団体との共催により「よくわかる実装技術講座」を開催した。

開催期日	場 所	内 容	参加者
4. 2. 18	オンライン	「エレクトロニクス実装におけるめっき技術」 長野県テクノ財団 名誉フェロー 若林信一 「ハルセルパターンの AI 学習によるめっき液管理法」 長野高専 電気電子工学科 秋山・淀研究室 坂本 一馬 氏、羽場 和紀 氏 「アジアにおける基板、めっきとそのコミュニケーションのトラブル事例紹介」 Grand Joint Technology Ltd. 大西 哲也 氏	59

7 次世代パワーエレクトロニクス事業化促進事業

これからの省エネ技術として非常に重要な SiC、GaN や GaO など、新素材のワイドバンドギャップ半導体を用いた次世代パワーデバイス・モジュールの技術の県内企業における理解を深め、技術の応用、拡大を図るため、関係団体と連携し「次世代パワーエレクトロニクス研究会」を開催した。

開催期日	場 所	内 容	参加者
3. 7. 13	オンライン	「宇宙用半導体デバイス技術の現状と未来」 宇宙航空研究科開発機構（JAXA）研究開発部門 第一研究ユニット 研究領域主幹 新藤 浩之 氏 「酸化ガリウムデバイスの動向と酸化物電極の開発」 物質・材料研究機構 国際ナノアーキテクニクス研究拠点 主任研究員 原田 尚之 氏	92

8 ゼロカーボン技術事業化促進事業

ゼロカーボン関連技術を活用した事業の創出を目指し、「磁気エレクトロニクス研究会」を設置。県内の有望な技術シーズを事業化するため製品開発プロジェクト候補の抽出を行い、事業化へ向けた支援を実施した。

開催期日	場 所	内 容	参加者
3. 8. 25	オンライン	「マイクロ磁気計測技術のデバイスへの応用と渦電流の画像観察技術紹介」 信州大学 工学部 電子情報システム工学科 教授 劉 小晰 氏 「磁性コンポジット材を用いた高速回転モータの低損失化」 信州大学 工学部 電子情報システム工学科 助教 佐藤 光秀 氏 「高速通信ノイズ対策用薄膜コモンモードフィルタの開発」 長野工業高等専門学校 電子制御工学科 教授 中山 英俊 氏	42
3. 11. 25	オンライン	「電磁界現象を用いた異変 (イノベーション) 研究」 信州大学 工学部 電子情報システム工学科 准教授 田代 晋久 氏	23

開催期日	場 所	内 容	参加者
		「機能デザインに基いた新しい磁性材料の創製」 千葉工業大学 工学部 電気電子工学科 准教授 安川 雪子 氏 「高周波特性に優れるナノグラニューラー磁性薄膜」 公益財団法人電磁材料研究所 デバイス用高機能材料開発部門 主任研究員 直江 正幸 氏	

9 航空宇宙産業集積促進事業

航空宇宙産業分野への参入を目指す県内企業の支援ニーズに応じて、参入に必要な関連業界・技術情報の収集、参入に資する研究開発・成果の早期事業化などへの支援事業を実施した。

航空宇宙産業集積の取組において南信州・飯田地域が抱える技術的課題を、長野県工業技術総合センターや他地域の企業や信州大学等を巻き込んで、飯田地域と連携して解決することを通じて、航空宇宙産業集積を県内全域に波及させるべく、研修会等の取組を実施した。

研修会の開催（5件、参加者合計延べ26名）

- ・ JIS Q 9100 内部監査員養成研修（テクノプラザおかや）
- ・ JIS Q 9100 内部監査員養成研修（エス・バード）
- ・ 品質保証まるわかりセミナー（エス・バード）
- ・ 特殊工程技術研修／熱処理、溶接（多摩川パーツマニュファクチャリング㈱）
- ・ 特殊工程技術研修／表面処理（多摩川パーツマニュファクチャリング㈱）

10 航空宇宙産業クラスター形成事業

長野県内の航空宇宙産業参入企業が、一層の連携強化を図ることなどを目的に、NAGANO 航空宇宙産業クラスターネットを設立し、運営した。

- ・ キックオフイベント開催
期日：令和3年7月6日（火）参加者合計73名（会場40、ZOOM 33名）
- ・ 会員数89者、ACN メール配信数52件
- ・ 令和3年10月10日からホームページ稼働開始

11 航空機産業支援機能強化事業

平成29年度から令和2年度にわたって支援をうけた研究者が、研究成果を報告し、県内航空機産業参入企業、参入を目指す企業から要望があったニーズについて、県内外の大学等から技術シーズを発表する「航空機システム補助金研究発表会&ニーズシーズマッチング」を開催した。

- ・ 期日：令和4年1月20日（木）
- ・ 参加者数：42名（Zoom ウェビナーによるオンライン開催）

12 ITビジネスコンソーシアム支援事業

産学官協働プロジェクトを生成し、地域・企業のニーズを踏まえたハッカソンや製品開発アイデアソンの開催、先進事例研究等の取組を4件支援した。

開催時期	行事名	主催者
令和3年11月25日～ 令和4年1月31日	地域課題と複業人材をつなぐマッチングプログラム「Work Design School 第2期」	(株)Shinonome
令和3年11月14日～ 令和3年11月20日	千曲市秋のワーケーション・ウェルカムデイズ2021	(株)ふろしきや
令和4年2月16日	NISA 若手社員交流会	(一社)長野県情報サービス振興協会、信州 IT バレー推進協議会

令和4年2月12日～令和4年3月6日	2021年度 Web×IoT メイカーズチャレンジ PLUS in 信州	Web×IoT メイカーズチャレンジ PLUS 信州運営委員会
--------------------	--------------------------------------	---------------------------------

13 AI・IoT等先端技術活用支援事業

(1) IoT 導入研修の開催

IoTによる「見える化」「改善・管理」についてのグループワークと、実際の製造現場をモデルとした課題抽出や解決導入手段の検討体験を通して、実践的なIoT導入手法を習得する全8日の研修を開催した。(参加者14名)

- ・ 期日：令和3年10月4日から12月14日までの8日間
- ・ 開催場所：上田駅前ビル パレオ、上田創造館、西田技研工業株式会社本社及び青木工場

(2) AI・IoT等先端技術活用セミナーの開催

県内中小企業におけるAI・IoT等デジタル技術の導入に向けた機運の促進を図るため、AI・IoT等先端技術活用セミナーをWebにて開催(参加者196名)

- ・ テーマ：現場を活かすデジタル導入とは
- ・ 期日：令和3年9月3日
- ・ 場所：長野県工科短期大学校 講堂

III 共同研究等推進事業

1 研究開発費獲得支援事業

国や県等の研究開発制度の活用・普及を図るため、各種制度のプレゼンテーションを行った。

開催期日	場 所	内 容	参加者
4.2.24	オンライン	研究開発等支援制度説明会 《研究開発等支援制度の説明》 ①「長野県の支援施策について」 長野県産業労働部産業技術課主任 鈴木 遼 氏 ②「経済産業省の支援施策について」 ・ R4年度予算案等 関東経済産業局地域経済部地域振興課係長 鈴木 崇史 氏 ・ 戦略的基盤技術高度化支援事業(サポイン事業)の概要 関東経済産業局産業部製造産業課課長補佐 小川 健彦 氏 ④「国立研究開発法人科学技術振興機構(JST)の支援施策について」 産学連携フェロー/マッチングプランナー 青柳 重夫 氏 ⑤「国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)の支援施策について」 (国研)新エネルギー・産業技術総合開発機構 イノベーション推進部 専門調査員 吉満 健一 氏	32

また、採択された研究開発プロジェクトに対し、研究活動の推進、進捗管理を行った。

制度名	テーマ名 [研究機関]	所管省庁等
戦略的基盤技術高度化支援事業	結晶コントロールした耐水素脆性ステンレス鋼製造技術 [小松精機工作所、兵庫県立大学]	経済産業省 関東経済産業局

2 財団コーディネート活動支援事業

大学等の技術シーズを活用する新技術・新製品の事業化や提案公募に必要な基礎的データの取得のための産学官連携による研究開発を支援するため、該当案件の募集を行ったところ、3件の提案応募があり、3件の採択となった。

3 共同研究開発交流支援事業

医療機器メーカーと県内ものづくり企業との技術交流会を、協働研究開発交流事業として(株)日本医工研究所がオンライン上で構築する医工連携 DX プラットフォームを活用することで開催した。信州医療機器事業化開発センターのオンラインブースを開設し、長野県医工連携オンラインセミナー及び製販企業との個別オンライン商談会を開催した。

ア 医工連携オンラインセミナーの開催

- ・ 期日：令和4年3月4日（金）
- ・ 開催方法：Zoom ウェビナーによるオンライン開催
- ・ 開催内容：演題「最近の脊椎脊髄外科手術の実際～医工連携の一助として～」
講師：医療法人愛仁会 亀田第一病院新潟脊椎外科センター（新潟市）
センター長 長谷川 和宏 先生

- ・ 出展企業：県内企業 15 社

イ 個別オンライン商談会

- ・ 実施時期：3月4日～31日※個別企業ごとに随時開催

No.	期 日	マッチング企業
1	令和4年3月14日	シエルハメディカル(株)×ジョンソン・エンド・ジョンソン(株)
2	令和4年3月23日	(株)ワカ製作所×(株)フジタ医科器械
3	令和4年3月24日	(株)キッツマイクロフィルター×(株)ホクシンエレクトロニクス
4	令和4年3月31日	ファーマックメディカル×欧和通商(株)

4 医療機器重点プロジェクト推進事業

令和3年4月から運用を開始した3Dデジタル生産技術実装化研究拠点を活用することで、一般的に長期間を要する医療機器開発の期間の短縮が期待できる。そこで、県内企業2社に対して開発を委託し、プロジェクトの推進モデルを創出して、本拠点の利活用の促進を行った。

No.	委託先	研究開発テーマ	委託期間
1	(株)永田製作所(岡谷市)	医療機器等用レンズの加工工程における振動抑制技術の開発	令和3年11月25日～令和4年3月15日
2	ファーマックメディカル(株)(茅野市)	整形外科用手術器械試作品への金属3D造形適用による顧客満足度向上に関する研究	令和3年11月25日～令和4年3月15日

5 令和3年度医療機器開発等支援補助事業

長野県医療機器産業振興ビジョン（平成31年3月策定）に基づき、県内の医療機器産業の振興を図るため、製品の実用化によって医療産業等の発展に貢献又は社会経済的問題解決に大きく期待でき、市場から必要とされ、事業化が見込まれる県内中小企業等が取り組む医療機器等開発の実用化を支援し、対象事業に係る経費の全部又は一部を補助した。

- ・ 審査委員会 令和3年7月28日（水）開催
- ・ 採択・交付決定件数2件

6 令和2年度医療機器開発等支援補助事業

県内に事業所を有する製造事業者等が既に医療機器等の開発に係る技術的な検証を終了し、実用化を目的とした試作開発及び販路開拓に取り組む場合に製品化までのプロセスを加速化させるための経費の一部を補助した。

- ・ 令和3年度交付決定件数6件（審査委員会は、令和2年11月27日に開催し、令和3年度へ繰越）

7 航空機産業参入企業受注獲得支援事業

コロナ禍により、特に業況が悪化し、かつ長期にわたりこの状況が続くと見込まれる県内に事

業所を有する航空機産業に参入する中小企業者が、航空機部品を製造する技術や生産設備を活かし、新たな受注獲得に向けた試作開発や販路開拓の取組に係る経費の一部を補助した。

- ・令和3年2月26日から令和4年1月末まで随時募集
- ・採択・交付決定件数8件

8 コンソーシアム活用型 I T ビジネス創出支援事業

県内 I T 企業が取り組む産学官連携コンソーシアムを活用したニューノーマル対応、地域課題解決、産業や自治体のデジタルトランスフォーメーション推進に役立つ I T システム開発等に対して、N I T が費用の一部を負担した。

- ・審査委員会 令和3年6月18日（金）開催
- ・採択・交付決定件数11件

9 ゼロカーボン関連技術開発補助金事業

県内企業が取り組むゼロカーボン関連製品開発を着実に進展させるため、技術検証を終えた有望な案件について、長野県における将来的なゼロカーボンに寄与すると認められる事業に対して対象事業に係る経費の一部を負担した。

- ・審査委員会 令和3年7月29日（木）面談審査
- ・採択・交付決定件数6件

IV 国際展開支援事業

1 国際ネットワーク構築・技術交流事業

長野県食品工業協会と発酵食品に係るグローバル展開について意見交換をしたところ、海外へは食品と調理器具のように機器類もセットで展開するという視野での検討が必要との助言をいただいた。

この助言を基に、善光寺バレー地域センターの研究会参画事業者（食品加工機器製造業者）であるエムケー精工株式会社、オリオン株式会社（オンライン）や信州大学の一条先生に訪問し、欧米等でよく用いられる食材や食生活に合う加工機器に係る研究開発の推進の可能性について模索した。各事業者において課題は多いが、ピンポイントでのマッチングが必要であるため、引き続き県内企業や欧州のフードバレー財団等の情報を収集し、県内企業に提供していく必要性を感じている。

2 国際連携ネットワーク強化事業

コロナ禍により、直接交流は難しかったため、グローバルな規模での食のニーズ探索や加工・製造技術の調査、研究機関等との共同研究・開発の一助とするため、オランダフードバレーとの連携の継続及び新規連携を目指し、6月24日にはフードバレーセミナーに参加し、また一般社団法人食品工業協会や長野県立大学、信大と相談しながら、県内製造業とオランダフードバレーの食品加工機器に係る共同研究開発という視点で検討を始めた。

これまでの交流やセミナーへの参加により、欧州のGRANITEのデジタル化戦略プロジェクトやFoodvalley NL等のフードチェーンプロジェクトに関する問合せがあり、今後の県内企業による開発支援の結果次第で協力いただくこと、そのための定期的な情報交換を行うことの申し出をした。

3 国内外の医療機器関連展示会出展支援事業

信州大学と連携して Arab Health2021、FIME2021、COMPAMED2021、病院設備・医療機器 EXPO 大

阪 2022 への県内企業の出展を支援したほか、信州医療機器事業化開発センターのオンラインブースを開設し、医工連携セミナー及び個別商談会を開催した。

ア Arab Health 2021 出展支援（オンライン）

- ・ 期間：令和 3 年 6 月 21 日（月）～24 日（木）
- ・ 出展企業等：信州大学と県内企業 2 社
（株）ナイツ（株）西澤電機計器製作所、（株）JVC ケンウッド

イ FIME2021 出展支援（オンライン）

- ・ 期間：令和 3 年 9 月 1 日（水）～3 日（金）
- ・ 出展企業等：信州大学と県内企業 4 社
（株）ナイツ（株）西澤電機計器製作所、（株）JVC ケンウッド、（株）オサチ、サイウィンド（株）

ウ COMPAMED2021 出展支援

- ・ 期間：令和 3 年 11 月 15 日（月）～18 日（木）
- ・ 出展企業等：信州大学と県内企業 4 社
シチズンファインデバイス（株）、（株）DIB インターナショナル（株）塚田メディカル・リサーチ、（株）JVC ケンウッド、シナノケンシ（株）

エ メディカルジャパン大阪 2022/病院設備・医療機器 EXPO 大阪 2022

- ・ 期間：令和 4 年 2 月 24 日（木）～26 日（土）
- ・ 出展企業等：信州大学と企業 10 社
チヨダエレクトリック（株）、キッセイコムテック（株）、（株）オーク製作所、シチズンファインデバイス（株）、（株）日本シールボンド、野村メディカルデバイス（株）、サイウィンド（株）、シナノケンシ（株）、鍋林（株）、（株）ユタカ※コロナ蔓延防止期間と重なり、企業 7 社は現地対応を取りやめた。

4 航空宇宙産業関連国内外の展示会出展支援事業

航空宇宙産業集積の取組において、国内外の航空機関連展示・商談会への出展機会を捉え、県内航空機関連産業を P R した。

航空機産業での事業拡大等を検討している長野県企業に向けて、愛知県国際展示場にて開催されるエアロマート名古屋2021（主催 B C I エアロスペース（フランス））で当財団が出展するブースへの共同出展の募集を 6 月 22 日から 7 月 27 日まで行った。

本公募にあたり、財団ホームページへの募集案内掲載及び財団メールマガジンによる周知を実施するとともに、企業訪問、メール及び電話で周知を実施した。

・エアロマート名古屋2021 出展支援企業

会 期	令和 3 年 10 月 13 日（水）～10 月 14 日（木）
場 所	愛知県国際展示場（Aichi Sky Expo）
出展企業（4 社）	・ エアロスペース飯田（飯田市） ・ ゴコー電工（株）（富士見町） ・ 塚田理研（株）（駒ヶ根市） ・ （株）都筑製作所（坂城町）

本展示会への出展に関連して、経済産業省中部経済産業局が取りまとめているエアロマート支援会議（W e b 会議）へ出席し、各県との情報交換の中で出展支援についても紹介し、航空機産業が盛んな中部地域との連携による相乗効果も確保しながら活動を展開した。

V 人材育成事業

1 医療機器人材の開発力向上事業

医療機関や救急現場などの現場ニーズを探索し、直面している困難や技術的に制限されていることを県内ものづくり企業に提供することで、医療現場の課題解決に資する新たな医療機器等の開発・改良につなげるために意見交換会や現場見学会を開催したほか、新たな共同研究開発プロジェクトを推進した。

(1) 北アルプス広域消防本部との医工連携推進

救急救命士に医工連携による医療機器開発事例を説明する事により現場ニーズの実用化方法について理解を深め、救急現場ニーズの探索を行った。

- ・日時：令和3年8月24日（火） 10:00～11:30
- ・場所：北アルプス広域消防本部（大町消防署）
- ・参加者：消防監、消防指令長、他7名

(2) 救急活動シミュレーション訓練見学会の開催

北アルプス広域消防本部で実施される救急活動シミュレーション訓練の見学会を開催し、実際の救急活動を見学し、救急救命士などから救急現場ニーズの聞き取りを行い、県内ものづくり企業がもつ技術シーズとマッチングを行った。

- ・日時：令和3年10月26日（火） 13:00～16:00
- ・場所：北アルプス広域消防本部（大町消防署）
- ・参加者：5名（3社（岡谷酸素、ファミリー・サービス・エイコー、NISSHA サイミックス）・1大学（信州大学））

2 グローバル展開実践カレッジ

県内企業がグローバルな展開を推進する上で必要となる英語による発信力を強化するため、次の講座を開催した。

(1) E S P (English for Specific Purposes) 講座

講師：清泉女学院大学教授 グレゴリー・バーチ氏、教授 薮田 由己子氏

県立大学非常勤講師 ミゲル・ミッション氏

ゲストプレゼンター：長野県テクノ財団コーディネーターマネージャー 遠藤 智久

開催期日	場 所	内 容	参加者
3. 10. 22	オンライン	・英語による効果的なビジネスプレゼンテーションの作り方 ープレゼン概論、課題提示ー ・ゲストプレゼンターによるプレゼンテーション	延べ86 個別指導 受講者 1社・2名
3. 11. 19	オンライン	・ゲストプレゼンターによるデモ・プレゼンテーション 「英語による情報発信とAI技術の活用(2)」 ・英語による効果的なプレゼンテーションの伝え方 ー個別指導、フィードバックー	
3. 12. 10	オンライン	・プレゼンテーション実演 ・講者とディスカッション、講評	

(2) ビジネス英語講座

講師：長野県立大学 准教授 カチョフ・シェロ・エリス 氏

開催期日	場 所	内 容	参加者
3. 6. 7	オンライン	・「会話の始め方について (Starting a Conversation)」 ・ミニ講義：文化の違いはコミュニケーションに影響を与える	延べ43
3. 7. 5	オンライン	・「“会話が止まる問題”を解決する」 ・ミニ講義：文化によって異なる説得力(1)	
3. 8. 2	オンライン	・「会話の終わらせ方について (Closing a Conversation)」 ・ミニ講義：文化によって異なる説得力(2)	

(3) ビジネス英語講座・実体験編 ―先輩に学ぶ

講師：シナノケンシ株式会社 清水 公典 氏

開催期日	場 所	内 容	参加者
3. 1. 28	オンライン	・ビジネス環境の変化とシーンに合わせたビジネス英語 － 事業活動約 50 年間における学び ・ e-mail、プレゼンテーションの解説、事例紹介	延べ 26
3. 2. 25	オンライン	・宿題のレビュー、発表 ・効果的な英語表現 － コミュニケーション、メール、プレゼン表現のなんでも相談	

3 航空宇宙産業人材育成事業

航空機部品製造に携わる主に若手～中堅職員の技術者や担当者が、受注から出荷までの一連の生産活動における品質保証の実務を、ワークショップ形式で模擬体験を通して習得することで、ハードルが高いとされる航空機産業の品質保証・管理体制の構築について容易に理解することを目的とする研修会を開催した。

・航空機産業品質保証まるわかりセミナー

期 日	令和 3 年 11 月 5 日（金）、令和 3 年 11 月 12 日（金）
場 所	エス・バード E 棟 会議室 201
講 師	名古屋品証研株式会社安井 智幸 氏、 大橋 和則 氏
受講者	14 名

4 航空機部品品質保証力等強化事業

航空機産業人材の育成や航空機産業に関する工場内の体制整備に関する県内外で開催される講習会へ県内事業所の従業員が参加する費用を補助する「航空機産業人材育成補助金」及びコンサル指導のために専門人材を県内事業所へ招へいする費用を補助する「航空機産業企業内体制整備補助金」を実施した。

ア 航空機産業人材育成補助金 応募件数 0 者

イ 航空機産業企業内体制整備補助金 応募件数 3 者 採択者 3 者

VI 広報等事業

1 情報発信サービス充実事業

ホームページ(<http://www.tech.or.jp>)やダイレクトメールなどで財団事業の P R やイベント情報等を提供した。

2 研究開発成果等情報発信・普及拡大事業

新たな産学官連携につなげるため、これまでの研究開発支援における成果事例 3 件及び取組事例を財団ホームページへ掲載し、県内企業へ向けて情報発信を行った。

3 他団体の支援・後援等

学会、研究会等が実施する産学官連携事業が効果的に実施できるよう共催、後援等の支援を行った。

参加者計（延べ） 1, 8 6 5 名

地域センター事業

[善光寺バレー地域センター]

I 産学官交流事業

1 善光寺バレーコラボネット

善バレー地域企業における経営者、技術管理者、中堅技術者及び大学等関係者の交流会を開催し、企業間の技術交流や産学官交流を促進した。また、交流会活動を通じて具体的な研究開発プロジェクトを創設するなど、地域における共同技術開発を支援した。

研究会の開催 年4回（講演会、会員発表等）

開催期日	場 所	内 容	参加者
3. 5. 24	長野市 (会場及び オンライン)	令和3年度通常総会 第68回例会（令和3年度第1回） 《講 演》 「SHINKOにおける生産性向上活動とIT活用の歴史的変遷」 新光電気工業(株) 上席執行役員情報 システム統括部長 田中 秀幸 氏	25
3. 8. 20	オンライン	第69回例会（令和3年度第2回） 「IoT 無線通信技術 可能性と限界と -IoT の開発と社会実装の現場-」 国立大学法人信州大学 理事・副学長 不破 泰 氏 「カーボンニュートラルとこれからの太陽エネルギー利用」 (株)サンジュニア 代表取締役社長 西原 弘樹 氏 「会社紹介と小水力発電事業について」 (株)新井製作所 代表取締役社長 新井 達也 氏 「ステップアップ支援事業事例紹介」 事業紹介 長野県中小企業振興センター 主査 三島 誠司 氏 ビデオ上映 株式会社サン・パワー『お助け門』	33
3. 11. 19	長野市 (会場及び オンライン)	第70回例会（令和3年度第3回） 「企業のデジタル社会への向き合い方」 NPO 法人長野県 IT コーディネータ協議会 副理事長 飯嶋 宏 氏	27
4. 1. 21	オンライン	第71回例会（令和3年度第4回） 「中小企業の DX 戦略を事例企業に学ぶ ～経営環境の変化をDXで乗り越え、グローバルに飛躍する会宝産業(株)～」 石川県情報化支援協会 理事長 (合)アイティ経営ラボ代表 横屋 俊 氏 「DXによるモノづくり革命・デジタルモールド」 (有)スワニー 代表取締役社長 橋爪 良博 氏 「会社紹介と融合技術による商品開発」 オリオンオートクラフト(株) 代表取締役社長 石割 弘幸 氏	32

2 善バレーミニ学会（技術交流会を含む）

大学及び高専等と地域企業による共同研究の成果を発表する「善バレーミニ学会」を長野高専と

共同で開催し、関係者の交流を促進するとともに、研究開発・産学官連携に対する地域企業の意識を高めた。

年1回開催（大学・高専のシーズ紹介、共同研究成果の発表、特別講演等）

開催期日	場 所	内 容	参加者
3. 11. 26	オンライン	善バレミニ学会（善光寺バレー研究成果報告会 2021） 《研究報告・事業紹介》 「顕微鏡観察によるマテリアルの組織解析と開発」 長野高専 押田 京一 氏 「放電加工における極間現象の観察」 長野高専 小野 伸幸 氏 「鋼構造物に対する炭素繊維シートを用いた補修・補強技術に関する研究」 長野高専 奥山 雄介 氏 「複合材料研究の視点からの材料の設計と機能化」 長野高専 滝沢 善洋 氏 「DX（デジタルトランスフォーメーション）をどのように進めていくか」 シソーラス(株) 荒井 雄介 氏 「デザイン思考による当社のデジタル製品開発」 オルガン針(株) 戸谷 豊 氏 「スマホ世代の社員教育」 (株)匠電舎 轟 修平 氏 「エッジコンピューティング導入による安心安全な社会と誰もがTRYできるシステム開発環境」 (株)ソルティスター 岩井 昇一 氏 《特別講演》 「臨床ビッグデータと人工知能を活用した創薬」 京都大学薬学部 金子 周司 氏	55

（2）長野高専技術交流会

開催期日	場 所	内 容	参加者
3. 9. 22	オンライン	第 63 回技術交流会および第 37 回地域活性化研究会 《技術シーズ発表》 「Deep Learning による画像認識システムの検討」 長野高専 電子情報工学科 助教 中島 彩奈 氏 《企業プレゼンテーション》 「情報発信で長野を健康で明るい社会に！」 (株)アスク 取締役社長 山本 恵美子 氏（長野市） 「スポーツ×食農～夢の力で地域を元気に～」 (株)I. D. D. WORKS かいぶつ事業部長 住澤 祐樹 氏	38
4. 1. 26	オンライン	第 64 回技術交流会および第 38 回地域活性化研究会 《技術シーズ発表》 「微生物による水環境保全」 長野高専 環境都市工学科 嘱託教授 矢口 淳一 氏 《企業プレゼンテーション》 「縁の下での力持ち」で地域社会を支える！ 伸商機工(株) 代表取締役 宮川 岳洋氏（須坂市） 「感動と笑顔を届けるモノづくり」で社会に貢献 (株)双葉溶接 代表取締役 北澤 直丈氏（上田市）	13

3 公設試験研究機関研究成果普及事業

長野県工業技術総合センターの研究成果の活用及び事業化を支援するため、地域内にある材料

技術部門及び食品技術部門における研究成果の普及発表会などを共同で実施した。

開催期日	場 所	内 容	参加者
3. 11. 15	オンライン	長野県工業技術総合センター 金属積層造形技術研究会 《特別講演》 「トポロジー最適化の考え方と、機械構造・デバイスの性能向上を目指したマルチマテリアル、マルチフィジックス問題への展開」 京都大学大学院 工学研究科機械理工学専攻 西脇 眞二 氏	23
3. 11. 16	オンライン	長野県工業技術総合センター 研究成果発表会 《特別講演》 「美味しさの科学と和食の美味しさ」 甲子園大学 栄養学部 副学長・教授 伏木 亨 氏	69

Ⅱ 新産業創出支援事業

1 コーディネート活動事業

担当地域の企業や大学等を訪問し、企業ニーズを探るとともに、大学・高専等の技術シーズの発掘を行うコーディネート活動を実施した。また、技術開発・商品化・市場開拓等に関する課題解決や産学官研究開発グループの創出などに向けて効果的な事業企画・運営に努めた。

開催期日	場 所	内 容	参加者
3. 4 月 ～ 4. 3 月	圏域内	活動実績 ・ 企業訪問などの企業等連携 138 件 ・ 大学訪問などの大学等連携 60 件 ・ 主催研究会等 113 件 ・ その他研究会等参加 97 件 ・ その他 10 件 計 418 件 活動成果 ・ 技術シーズ等の紹介 21 件 ・ 共同研究成立 1 件 ・ 提案公募型助成制度提案支援状況 5 件	—

2 地域エネルギー利用技術研究会

地域資源である「地域の再生可能エネルギー源」の有効利用に必要な新技術の開発を目指して、技術課題の探索、その課題解決に資する技術シーズの紹介等を行うとともに、具体的な研究開発プロジェクトの立ち上げを目指す研究会を開催した。

開催期日	場 所	内 容	参加者
3. 7. 27	長野市 (会場及び オンライン)	地域エネルギー利用技術研究会 第 1 回講演会 「きのこ 使用済み培地を活用したエネルギー化への挑戦」 中野市農業協同組合 営農部きのこ課 課長 篠田 清嗣 氏 「地域 資源循環型社会構築のための小さなモデル開発」 国立大学法人 信州大学工学部 工学部長 天野 良彦 氏	32
3. 12. 6	長野市 (会場及び オンライン)	地域エネルギー利用技術研究会 第 3 回講演会 「ゼロカーボン実現に向けた長野県内の再生可能エネルギー事業の動向」 (一財)長野経済研究所 調査部産業調査グループ 主任研究員 寺嶋 孝太郎 氏	28

3 ながの地域「水素エネルギー技術研究会」

成長期待分野である水素エネルギー関連ビジネスへの地域企業の参入を目指して、水素発生装置、燃料電池車、エネファームなどの技術課題の探索及びその課題解決に資する技術シーズの紹介等を行う目的で研究会を開催した。水素エネルギー社会実現に向けた取組や水素・燃料電池関連の技術を幅広く紹介し、地域企業に役立つ最新の動向を伝えた。

開催期日	場 所	内 容	参加者
4. 2. 16	オンライン	ながの地域「水素エネルギー技術研究会」第1回講演会 「水素燃料電池開発の課題と方向性」 信州大学繊維学部／先鋭材料研究所 教授 杉本 渉 氏	17
4. 3. 9	オンライン	ながの地域「水素エネルギー技術研究会」第2回講演会 「再生可能エネルギーと水素による地域創生」 谷グリーンエネルギー研究所 代表取締役 谷 義勝 氏	24

4 新たな金属積層造形技術研究会

金属加工分野で発展が目覚ましい金属積層造形技術について、地域企業の参入を目指した加工技術、材料技術、製品特性、実用化に向けた技術課題を調査研究する技術研究会を開催した。今年度は、現在の加工技術動向及び対象製品を紹介し、具体的な製品や新しい技術開発目標の提案につなげた。

開催期日	場 所	内 容	参加者
3. 7. 30	長野市 (会場およびオンライン開催)	新たな金属積層造形技術研究会第2回講演会 「トルンプ社製金属3Dプリンター『TruPrint』の事例紹介と最新トピックス」 トルンプ(株)レーザ事業部 3D Printing & LMD 課 課長 岡 寛幸 氏	30
3. 11. 4	長野市 (会場およびオンライン開催)	新たな金属積層造形技術研究会第2回講演会 「(株)タカノにおける金属3Dプリンターによる新規事業開発と導入事例紹介」 (株)タカノ金属3Dプリンタ事業責任者 信州大学 特任助教 藤尾 宗太郎 氏	33
4. 2. 22	長野市 (会場およびオンライン開催)	新たな金属積層造形技術研究会第3回講演会 「溶射による金属積層技術(コールドスプレー付加製造 CSAM を中心に)」 信州大学 学術研究院 教授(工学系) 工学部 機械システム工学科 榊 和彦 氏 「三菱商事テクノスが取り組む金属AM事業 ～SKD造形とGEアディティブの大型造形～」 三菱商事テクノス株式会社 アディティブ・マニファクチャリング・ソリューション部 統括マネージャー 檜枝 貴史 氏	35

5 地域産業活性化支援事業

産業活性化に向けて、地域で実施される共同研究開発活動やものづくり催事等に対し、効果的な事業推進が実施できるよう支援を行った。

また、管内の企業を支援するコーディネータやアドバイザー等による情報共有や意見交換等を行うコーディネータ等連携推進会議を開催した。

(1) コーディネータ等連携推進会議

開催期日	場 所	内 容	参加者
3. 5. 26	長野市	善バレ・コーディネータ連携推進会議（第1回） 参加各機関からの情報提供及び意見交換	15
3. 10. 4	長野市	善バレ・コーディネータ連携推進会議（第2回） ① 産学官連携コーディネート活動の実態と課題 信州大学繊維学部 特任教授 北沢 俊二 氏 ② 参加各機関からの情報提供、意見交換	18
4. 1. 27	長野市 (会場及び オンライン)	善バレ・コーディネータ連携推進会議（第3回） ① 新財団長野県産業振興機構における地域ニーズ収集について ② 各参加機関からの情報提供、意見交換	26

Ⅲ 共同研究等推進事業

1 提案公募型等研究開発プロジェクト導入支援事業

「3D 金属積層造形へ用いるプラズマ処理コバルトクロム合金粉体の開発」をテクノ財団コーディネート活動支援事業として実施

2 提案公募型等研究開発プロジェクト運営事業

サポイン事業「半導体製造工程でパーティクルフリーを実現する高速厚膜 SiC コーティング技術の開発」と「これからの EV 社会に向けたパワー半導体向け革新的研磨装置の開発」の支援

3 提案公募型等研究開発プロジェクトフォローアップ事業

サポイン「高効率成形システムを有する複合材向けオートクレーブの研究開発」と、ものづくり中小企業・小規模事業者連携支援事業可視光通信技術を活かした「高齢者・身障者の生活支援システム」の開発・事業化を目指すフォローアップの実施

Ⅳ 人材育成事業

1 善バレ・ハイテクセミナー

地域企業の新技術・新製品開発の動きを促進するため、成長が期待される分野の技術動向や研究成果の早期事業化に向けた取組等を紹介するセミナーを開催した。

開催期日	場 所	内 容	参加者
3. 10. 13	オンライン	第1回講演会 「超小型人工衛星ベンチャー企業の挑戦」 (株)アクセルスペース 取締役 CTO 宮下 直己 氏	28
4. 1. 19	オンライン	第2回講演会 「宇宙エレベーターがもたらす未来」 (一社)宇宙エレベーター協会 会長 大野 修一 氏	21

2 応用機械設計研修プログラム

製造現場では高い設計品質能力の技術者が求められることから、長野高専と連携して講義と実習により実践的な設計技術の研修を実施し、技術者のスキルアップと研究開発人材の基盤づくりを行った。

開催期日	場 所	内 容	参加者
3. 5. 12 ～ 6. 9 全 4 回	オンライン	第 1 回 機械材料 講師：長野高専 教授 長坂 明彦 氏 第 2 回 加工法 講師：長野高専 技術支援部 市川 敬夫 氏 第 3 回 強度設計 講師：長野高専 教授 堀口 勝三 氏 第 4 回 信頼性設計 講師：長野高専リサーチアドミニストレーター 浅沼 和志 氏	118
4. 1. 12 ～ 2. 2 全 4 回	オンライン	4-4 幾何公差セミナー（講師：長野高専 鈴木 伸哉 氏） 第 1 回 サイズ交差と幾何公差 第 2 回 長さに関わるサイズ、幾何公差の概説 第 3 回 形状公差、デーラム、姿勢公差、位置公差、振れ公差 第 4 回 最大実体公差方式	64

3 IoT 入門基礎研修プログラム

IoT 入門基礎研修プログラムについては、令和 4 年 2 月に計画していた。しかしながら実技教育であるため、新型コロナウイルスの感染者が急増したため中止とした。

4 子供ものづくり科学教室

「信州さらしな田毎の月プロジェクト」へ参加し、棚田に、太陽光発電方式の LED 器具の光で田毎の月を再現しようと、発光器具「ペットボトル」を 1 人 1 個ずつ組み立て、「科学する心」を醸成した。

開催期日	場 所	内 容	参加者
3. 9. 8	千曲市	「信州さらしな田毎の月プロジェクト」実行委員会 9 月 8 日に千曲市の治田小学校で、環境教育とペットボトルの製作を行い、150 名が参加した。	150

V 広報等事業

メルマガ「善バレニュース」の配信

テクノ財団が実施する事業や各種技術開発支援制度・経営情報の提供をタイミング良く配信するとともに、地域企業と当センターとの効果的オンライン接点の形成を目指した。

- (1) ホームページ (<http://www.tech.or.jp/zen/>) による情報提供
- (2) メルマガ「善バレニュース」の配信 (2021 年度 29 件)

参加者計（延べ） 9 5 4 名

[浅間テクノポリス地域センター]

I 産学官交流事業

1 浅間幹部技術者交流フォーラム

地域企業の技術幹部等が、アドバイザー（大学の先生）や講師、コーディネータと共に、技術シーズやニーズの情報交換を行い、相互研鑽及びネットワークづくりを進め、新たな研究開発を効果的に企画・実施できるように支援した。

開催期日	場 所	内 容	参加者
3. 6. 18	オンライン	第 64 回浅間幹部技術者交流フォーラム ・カーボンニュートラルの講演視聴 ・今期フォーラム事業の検討 ・次回フォーラムの打合せ、その他	10
3. 9. 27	オンライン	第 65 回 浅間幹部技術者交流フォーラム ・講演「ソフトウェアによる付加価値向上」 長野大学 教授 田中 法博 氏 ・次回フォーラムの打合せ、その他	10
3. 11. 15	オンライン	第 66 回 浅間幹部技術者交流フォーラム ・講演「再生可能エネルギー概論」 信州大学工学部 准教授 松岡 浩仁 氏 ・日置電機株式会社 カーボンニュートラル取組み ・次回フォーラムの打合せ、その他	13
4. 2. 22	オンライン	第 67 回 浅間幹部技術者交流フォーラム ・講演「電池のあるべき姿、信大発ナノカーボンバッテリーで 脱炭素化、高出力と軽さの両立で多様な産業を支える」 講師：信州大学学術研究院(工学系)教授 是津 信行 氏 ・次回フォーラムの打合せ、その他	10

II 新産業創出支援事業

1 コーディネート活動事業

担当地域内の企業を訪問し、技術開発・商品化・市場開拓等の企業の課題解決や、産学官研究開発グループの創出などに向けたコーディネート活動を、より活発に実施するとともに、当地域センター事業に対する企業ニーズを探り、効果的な事業企画・運営に資した。

開催期日	場 所	内 容	参加者
3. 4 月 ～ 4. 3 月	上田市他	活動実績 企業連携 87 件 大学等連携 26 件 研究会開催 105 件 その他研究会等産力 18 件 その他 58 件 活動成果 共同研究・実用化等支援(※1) 5 件 提案公募型助成制度等提案支援状況 1 件	—

2 地域産業革新活動支援事業

地域内で開催される産業展・学会等を支援するとともに、地域コーディネータ連絡協議会等に参加し、情報共有を行い、産学官連携の活性化を図った。コロナ禍のため、オンライン展示会として開催。

開催期日	場 所	内 容	参加者
3. 10. 1 ～4. 8. 31	上田市	上田地域産業展 2021 協賛 オンライン開催 出展企業・団体 47 団体	—
3. 10. 1 ～4. 1. 31	佐久市	「まちなか ゴッコン！さく市」2021 協賛 オンライン開催 出展企業・団体 26 団体	—

3 感性応用計測研究会

「使いやすさ」、「心地よさ」といった感性をものづくりに取り入れ、感性の数値化及び分析評価を行い、製品開発、デザイン、マーケティングに生かすための調査・研究を行った。

今年度は「心地よさ」の計測・分析・評価の研究を行い、「心地よさ」に関する感性計測の可能性を研究した。コロナ禍の影響を受けてオンライン開催にすることで、結果的には遠方からの参加も増え盛況であった。

開催期日	場 所	内 容	参加者
3. 7. 2	オンライン	第1回 研究会 「皮膚電位活動の測定と応用」 (株) スキノス 代表取締役 百瀬 英哉 氏 「光ファイバセンシング型水分計—微小部分の水分吸収計測—」 スキノス東御研究所 坂口 正雄 氏 「生理心理反応計測による衣服布地の蓄熱保温加工効果の検証」 信州大学大学院 唐沢 悠綺 氏	22
3. 9. 6	オンライン	第2回 研究会 「杖の握り角度の変化が手関節に与える影響に関する研究」 医療創成大学 理学療法学科 講師 成田 正行 氏 「足裏の温熱刺激に他感覚刺激をクロスモーダルした際の心身反応」 信州大学大学院 藤原 聖也 氏 「自動車照明に関わる視認性評価に関する研究」 信州大学繊維学部先進繊維・感性工学科 教授 上條 正義 氏	22
3. 11. 5	オンライン	第3回 研究会 《話題提供》 長野県工業技術総合センター新規導入設備のご紹介 「3D デジタル生産技術共同研究棟(3D ラボ)のご紹介」 材料技術部門 設計支援部 主任研究員 相澤 淳平 氏 材料技術部門 製品科学部 主任研究員 大森 信行 氏 「動作計測に関する環境・情報技術部門新規導入設備のご紹介」 環境・情報技術部門 人間生活科学部 主任研究員 北野 哲彦 氏	15
4. 2. 21	オンライン	第4回 研究会 《特別講演》 「リサーチマインドを育てるには—お金をかけない研究方法—」 信州大学大学院 特任教授 藤原 孝之 氏 《研究発表》 「情報共有による共感から感性価値への想起に関する研究」 信州大学繊維学部先進繊維・感性工学科 4年 白石 友佳 氏	30

4 AI・IoT活用研究会

AI 技術の高度化は目を見張るものがあるが、IoT 技術との連携が不可欠である。AI 技術と IoT 技術の連携を高めるために、AI、IoT 技術の情報交換や知識習得の場を提供し、より効果的な技術開発や製品開発に繋げる事を目標に活動する。

開催期日	場 所	内 容	参加者
3. 7. 2 3. 7. 27 3. 8. 24 3. 8. 31 3. 9. 7	オンライン	第1回 研究会 全5回のAI入門講座 信州大学工学部 教授 香山 瑞恵 氏 ①「身の回りのAI」 ②「AI 今昔」 ③「流行りのAI、つくってみる会」 ④「AI の周辺事情」 ⑤「理想のAI？」	20 20 20 20 20
3. 10. 19	オンライン	第2回 研究会 「長野県工業技術総合センターのAI・IoT 支援事例の紹介」 長野県工業技術総合センター 環境・情報技術部門 坂本 潤嗣 氏 「胴体検知に関する先行研究」 信州大学大学院 神田 悠作 氏	13
3. 12. 21	オンライン	第3回 研究会 「課題解決型 AI 人材教育プログラム「AI Quest」で学んだ 現場にAI を導入するために考慮すべきこと、必要なこと」 エプソンアヴァシス(株)事業推進本部 Xプロジェクト 原田 愛 氏	16
4. 2. 15	オンライン	第4回 研究会 「エッジコンピューティング AI 鳥害防止システム」 マリモ電子工業(株) 尾関 竣哉 氏	16
4. 2. 24	オンライン	第5回 研究会 「AI 技術のロボット分野での活用事例」 信州大学工学部 先鋭領域融合研究群 社会基盤研究所 副所長 教授 山崎 公俊 氏	21

Ⅲ 共同研究等推進事業

1 提案公募型研究開発プロジェクト導入支援事業

1 件のテーマについて、サポインへの公募申請に向けた支援を実施したが、採択には至らなかった。

2 提案公募型研究開発プロジェクトフォローアップ事業（含む事業化状況報告）

終了した研究開発プロジェクト5件についてフォローアップを行った。

- (1) サポイン「制御ソフトウェアの高度化による産業用超高安定度電圧標準装置の開発」
- (2) サポイン「鉛フリーの無着色・低光弾性の高屈折率レンズの開発」
- (3) サポイン「光波長測定装置用小型波長掃引光源モジュールの開発」
- (4) サポイン「高精度厚膜・高安定接合技術を確立した高性能低コスト圧力トランスミッターの開発」
- (5) サポイン 「腕時計型連続血圧測定システム開発」

IV 人材育成事業

1 “浅テク・ハイテクセミナー” シリーズ

新技術・新製品開発に向けて、今後成長が期待される「健康・医療」、「環境・エネルギー」、「次世代交通」等の分野から先端技術の動向をテーマとしたセミナーを実施した。

(1) ハイテクセミナー

開催期日	場 所	内 容	参加者
3. 5. 28	オンライン	「液系リチウムイオン電池の可能」 ～東芝二次電池 SCiBTM の技術と応用～ (株)東芝 電池事業部 技師長 稲垣 浩貴 氏	42
4. 1. 28	オンライン	「企業経営に影響を与える気候変動フレームワーク TCFD」 ロイド レジスター クオリティ アシュアランス リミテッド ジャパンセールスマネジャー サステナビリティ 主任検証人 小田村 尚 氏	16
4. 2. 3	オンライン	「持続可能な地域発展と信州大学の ミッション・ビジョン・バリュー」経済講演会の共催について 主催 (公財)さかきテクノセンター 共催 浅間テクノポリス地域センター 信州大学 学長 中村 宗一郎 氏	53

2 マネジメントシステム改善研究会

研究開発型企業における新技術・新製品の研究開発とその成果の早期事業化には、各種マネジメントシステムの構築・運用・改善が欠かせない。最新情報の共有や相互啓発により自社システムの向上を目指す研究会を開催した。

(アドバイザー：信州大学繊維学部教授 村上 泰 氏)

開催期日	場 所	内 容	参加者
3. 6. 3	オンライン	第 50 回研究会 ・研究会で取り上げたい議題について情報交換 ・今後の研究会の進め方についての意見交換 ・今後の活動について	12
3. 7. 21	オンライン	第 51 回研究会 ・QEHS 関連講話(ロイドレジスター 武藤 様) ・今後の研究会活動に関する検討会	10
3. 9. 2	オンライン	第 52 回研究会 ・外部審査報告(オルガン針 関口 様) ・各社 SDGs の取組み報告 ・研究会の協議内容についての意見交換 ・村上先生のまとめ	13
3. 10. 18	オンライン	第 53 回研究会 ・各社 SDGs の取組み報告 ・研究会の協議内容についての意見交換 ・村上先生のまとめ	9
3. 12. 8	オンライン	第 54 回研究会 ・各社 SDGs の取組み報告 ・研究会の協議内容についての意見交換 ・村上先生のまとめ	11

4. 2. 4	オンライン	第 55 回研究会 ・ 東京精電様の維持審査報告 ・ 各社 SDGs の取組み報告 ・ 村上先生のまとめ	11
---------	-------	---	----

3 若手技術者養成講座

地域企業における技術力の底上げを図るため、現場で役立つ機械加工・制御技術の基礎を習得する講座を開催した。

(1) 講座名 機械加工法コース 前期

(講師 長野高専 地域共同テクノセンター 主査 市川 敬夫 氏)

開催期日	場 所	内 容	参加者
3. 6. 9	オンライン	第 1 回 機械加工の種類と加工のしくみ、機械に使われる部品、材料の基礎	24
3. 6. 16	オンライン	第 2 回 図面の基本、切削油の種類、測定、穴あけ加工	24
3. 6. 23	オンライン	第 3 回 穴あけ加工、旋盤による旋削加工、フライス盤による加工	24
3. 6. 30	オンライン	第 4 回 フライス盤による加工、研削加工、その他の加工	24
3. 7. 7	オンライン	第 5 回 その他の加工、数値制御加工、安全に作業をするためには	24

(2) 講座名 機械加工法コース 後期

(講師 長野高専 地域共同テクノセンター 主査 市川 敬夫 氏)

開催期日	場 所	内 容	参加者
3. 10. 13	オンライン	第 1 回 機械加工の種類と加工のしくみ、機械に使われる部品材料の基礎	23
3. 10. 20	オンライン	第 2 回 機械材料、機械技術の共通知識、測定	23
3. 10. 27	オンライン	第 3 回 測定、ボール盤加工、旋盤加工	23
3. 11. 10	オンライン	第 4 回 旋盤加工、フライス盤による加工、研削加工	23
3. 11. 17	オンライン	第 5 回 その他の加工、数値制御加工、安全に作業をするためには	23

(3) 講座名 制御・IoT 初級コース

(講師 湯浅システム 湯浅 正樹 氏)

開催期日	場 所	内 容	参加者
3. 9. 10	オンライン	第 1 回 1. プログラムとは 2. 何故 Python を使うのか 3. 初めてのプログラム	13
3. 9. 17	オンライン	第 2 回 4. プログラムの作り方・考え方 5. Python 文法 (基本編) 6. ライブラリについて	13
3. 9. 24	オンライン	第 3 回 7. インターネットを活用した学習とその問題点 8. 実用プログラム例題作成	13

(4) 講座名 制御・IoT 中級コース

(講師 (有)ジェイウィンド 代表 小出 繁樹 氏)

開催期日	場 所	内 容	参加者
3. 11. 26	オンライン	第 1 回 0. 講座全体の流れについて 1. ラズパイで使用する Linux の基本コマンド 2. Python 3 入門 3. ラズパイ IoT 制御講座 (外付け基盤の回路図説明)	11

3. 12. 3	オンライン	第2回 4. ラズパイ IoT 制御講座 次週の取り組み内容、自社の取り組み紹介について	11
3. 12. 10	オンライン	第3回 5. ラズパイ IoT 制御講座 (Step3 2～) 6. 実際にラズパイを使った事案これからの取組み案を紹介	11

5 子供科学技術教室（ロボコン）

地域の子供たち（小中学生）を対象に、ものづくりの楽しさを味わい、創造力を養う子供科学技術教室（ロボコン）を開催した。地域企業のボランティア技術スタッフや信州大学の学生等と共に事業を運営した。なお、上田ロボコンについては、コロナ禍のため中止となった。

（1）軽井沢＊望月ロボコン

開催期日	場 所	内 容	参加者
3. 10. 16 ～10. 17、 3. 10. 24	望月町	望月教室 新規参加者向けの武者ロボ組立教室 経験者も含めた教室、組立調整とチーム編成、ミニゲーム実施	23
3. 10. 30	望月町	望月教室 成果発表会 駆けろ武者ロボ！国取りメカトロ大合戦 in 望月 開催	23
3. 12. 18	軽井沢町	軽井沢プレ大会 軽井沢子どもにメカトロ教室・ロボコンの紹介と募集イベント	26
4. 1 月 ～ 4. 4 月	軽井沢町	軽井沢教室 新規参加者向けの武者ロボ組立教室 駆けろ武者ロボ！国取りメカトロ大合戦 in 軽井沢 開催	26

（2）令和3年度 サクモ佐久市子ども未来館主催 小学生・中学生による「CO2 センサーづくり」

開催期日	場 所	内 容	参加者
4. 2. 27	オンライン	佐久市の教室 サクモ佐久市子ども未来館主催の CO2 センサーづくり 佐久市立中央図書館を主会場とし、オンライン開催。地域企業、佐久市立中央図書館、サクモ佐久市子ども未来館、佐久商工会議所連携の新規取組み。組立調整し、CO2 センサーを佐久市の図書館に寄贈。	22

V 広報等事業

1 ホームページ、Eメール等による情報発信

当地域センター事業や各種経営情報の提供を行うとともに、地域企業と当センターとの効果的オンライン接点の形成を目指した。また、ホームページの充実を図るとともに、Eメールにより研究開発・人材育成等の情報を提供した。

開催期日	場 所	内 容	参加者
通年	—	ホームページ (http://www.tech.or.jp/asama/) による情報提供 Eメール同報による講演会等の情報提供	—

参加者計（延べ） 902名

[アルプスハイランド地域センター]

I 産学官交流事業

1 アルプス広域コーディネータ連携事業

地域の産業支援機関のコーディネータや担当者が集まる連絡会議（アルプス広域コーディネータ連絡会議）を毎月開催して、企業のニーズ及び各種の支援制度情報をコーディネータ間で共有し、連携による当地域の企業支援を促進した他、産学官連携交流会事業の共同企画に当たった。令和3年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のために、全てオンラインにて開催した。

開催期日	場 所	内 容	参加者
3. 4. 23	松本市	第1回アルプス広域コーディネータ連絡会議オンライン開催 ・情報交換、	23
3. 5. 28	松本市	第2回アルプス広域コーディネータ連絡会議オンライン開催 ・情報交換、	19
3. 6. 25	松本市	第3回アルプス広域コーディネータ連絡会議オンライン開催 ・情報交換	17
3. 7. 30	松本市	第4回アルプス広域コーディネータ連絡会議オンライン開催 ・情報交換	24
3. 8. 27	松本市	第5回アルプス広域コーディネータ連絡会議オンライン開催 ・情報交換、・産学官連携交流会事業企画について	22
3. 9. 16	松本市	第6回アルプス広域コーディネータ連絡会議オンライン開催 ・産学官連携交流会事業実施について、・情報交換	19
3. 10. 29	松本市	第7回アルプス広域コーディネータ連絡会議オンライン開催 ・情報交換	22
3. 11. 26	松本市	第8回アルプス広域コーディネータ連絡会議オンライン開催 ・情報交換、・交流会（参加21名）	19
3. 12. 24	松本市	第9回アルプス広域コーディネータ連絡会議オンライン開催 ・情報交換	18
4. 1. 28	松本市	第10回アルプス広域コーディネータ連絡会議オンライン開催 ・情報交換	22
4. 2. 25	松本市	第11回アルプス広域コーディネータ連絡会議オンライン開催 ・情報交換	19
4. 3. 25	松本市	第12回アルプス広域コーディネータ連絡会議オンライン開催 ・情報交換	22

2 大学・高専・企業との産学官連携交流会事業

県内大学等の幅広いシーズを紹介するとともに地域企業の技術と経営情報の展示・プレゼンテーションを行うことで「産」と「学」が知り合う産学官連携交流会を開催した。

開催期日	場 所	内 容	参加者
3. 9. 21	松本市	「産学官連携交流会 in 松本 2021」の開催 (松本ものづくり産業支援センターの研修室からオンライン配信) 《特別講演》 「成熟企業の次なるイノベーションの創出～『思いの経営』を基礎にしたイノベーション研究・教育から見えてくること」 長野大学 企業情報学部 学部長 森 俊也 氏 《研究発表》 「自然エネルギー利用・炭素循環によるゼロカーボン地域の構築」 信州大学繊維学部 化学・材料学科 教授 高橋 伸英 氏 「光触媒を用いた人工光合成技術」 信州大学工学部 物質化学科 助教 影島 洋介 氏 「絶縁体材料に対するワイヤ放電加工技術について」	85

		長野高専 電子制御工学科 准教授 花岡 大生 氏 「動力的安定性を有するパーソナルモビリティの開発」 公立諏訪東京理科大学 工学部機械電気工学科 教授 星野 祐 氏 「センターAI キットについて」 長野県工業技術総合センター 環境・情報技術部門 情報システム部 坂本 潤嗣 氏	
--	--	---	--

II 新産業創出支援事業

1 コーディネート活動事業

コーディネータが企業に出向き経営課題の発掘に努めるとともに、大学・公設試験研究機関の技術シーズを把握し、経営課題の解決に有効な外部経営資源の紹介・引き合せ等に取り組んだ。

開催期日	場 所	内 容	参加者
3. 4 月 ～ 4. 3 月	松本市他	【令和3年度活動実績】 ・企業訪問 92 件 ・大学訪問 40 件 ・研究会開催 283 件 ・その他研究会等 23 件 合計 438 件	—
3. 5. 31	松本市・ 上田市	地域企業の課題解決に向けた産学官連携強化による支援活動として、長野大学の森ゼミナールの企業イノベーションプロジェクトを活用した取組の2年次をコーディネート ・信栄食品（松本市）と森ゼミナールによるグループ発表会 森ゼミ学生が6グループに分かれオンライン発表	50
3. 4. 14	安曇野市	安曇野市の電気器具メーカーの新分野進出に向けて、信州大学繊維学部の保有する材料技術を活用することにより、課題解決を図るための共同研究体制構築のコーディネートを実施 研究進捗会議：計4回（4月14日、5月25日、6月22日、9月15日）開催 研究成果報告会：3月16日に実施 次年度も共同研究を継続予定	28
4. 2. 10	松本市・ 上田市	・信栄食品とのイノベーションプロジェクト成果発表会をオンラインにて開催 オンラインにて森ゼミ学生47人が6班に分かれ発表 本プロジェクトにて提案された幾つかのアイデアについて商品化検討が進み、「マッスル餃子松本一本ねぎ」として実際に商品化された事例もあり。	50

2 アルプスイノベーション研究会事業

中信地域の中小企業若手経営層のネットワークを母体とする研究会で、自社の強みをベースとした知的資産経営報告書作成に向けた個別企業支援を行った。

- コンサルタント 長野県プロフェッショナル人材戦略拠点中南信エリアマネージャー
中小企業診断士 金子 宣昭 氏
- 技術アドバイザー 元長野県工業技術総合センター 所長 田口 宗治 氏
- 技術コーディネーター あづみ野産業振興支援センター 池田 博通 氏
- アドバイザー 松本ものづくり産業支援センター 杉本 守 氏
- 技術顧問 塩尻市振興公社 池田 博通 氏

開催期日	場 所	内 容	参加者
3. 4. 21 ～ 3. 6. 9	安曇野市	知的資産経営実践講座 個別指導会 対象企業：(株)シーケイテック 1. 知的資産報告書 内容説明 (4/21) 2. 知的資産報告書 最終報告会 (6/9)	10
3. 4. 27 ～ 3. 12. 10	松本市	知的資産経営実践講座 個別指導会 対象企業：シナノカメラ工業(株) 1. 経営者インタビュー① (4/27) 2. 経営者インタビュー② (5/25) 3. 工場内視察、関係者インタビュー (6/23) 4. キーマンへのインタビュー (7/26) 5. 知的資産報告書作成と内容ヒアリング (10/22) 6. 知的資産経営報告書の最終報告会 (12/10)	51
3. 5. 20 ～ 4. 3. 10	塩尻市	知的資産経営実践講座 個別指導会 対象企業：(株)アイテック 1. 経営者インタビュー① (5/20) 2. 経営者インタビュー② (6/22) 3. 工場内視察、関係者インタビュー (7/28) 4. キーマンへのインタビュー (10/15) 5. 知的資産経営報告書作成と内容ヒアリング (11/25) 6. 知的資産経営報告書の最終報告会 (3/10)	43

3 「旬」の技術研究会事業

地域の企業が先進・最新情報を得て、ものづくりの高度化にいち早く取組み、市場に勝ち残る競争力を確保するために、大学、先進企業等の持つ新規性のある分野の最新技術情報をタイミング良く提供した。

開催期日	場 所	内 容	参加者
3. 11. 18	オンライン	第1回研究会 「スマート農業の最新動向と（農業×SDGs）の動き」 (株)日本総合研究所 創発戦略センター エキスパート 三輪 泰史 氏	55
3. 12. 17	オンライン	第2回研究会 「次世代ディスプレイの将来動向について」 ～マイクロLED、有機EL、LCDの後継技術について～ 元 NEC ディスプレイソリューションズ(株) 開発本部長 荒井 豊 氏	33
4. 2. 18	オンライン	第3回研究会 「内燃機関でゼロカーボン」水素利用で変わるビジネスと日本の将来 ～燃料電池とは異なる水素エンジンの活用と新規ビジネス～ iLabo(株) 代表取締役 山根 公高 氏	51

4 松本地域産業活性化事業

松本地域の産業高度化と新産業創出促進のため、松本ものづくり産業支援センターと連携して経営革新事例研究会を計画したが、新型コロナウイルスの感染拡大により、スマート化診断のみ実施した。

アドバイザー：(独) 中小企業基盤整備機構 林 芳樹 氏、小野崎 修 氏

協働機関：関東経済産業局、松本ものづくり産業支援センター、松本市

開催期日	場 所	内 容	参加者
3. 12. 17	松本市	スマート化診断① 工場視察、ヒアリング 対象企業：シナノカメラ工業(株)	12
3. 1. 11	松本市	スマート化診断② オンラインヒアリング 対象企業：シナノカメラ工業(株)	15
3. 3. 18	松本市	スマート化診断③ 現地報告会 対象企業：シナノカメラ工業(株)	15

5 中南信自動化支援事業

中小企業の自動化装置導入を支援するために地域内企業グループの要望、先行している国内機関、企業の支援事例をもとに、県内での支援事業の立ち上げについて研究を行った。

開催期日	場 所	内 容	参加者
3. 4. 1	塩尻市	SIer 第1回見学・研修会(駒ヶ根電化)	7
3. 4. 7	塩尻市	SIer 第2回見学・研修会(日本ピスコ)	8
3. 4. 12	松本市	事務局会議①	8
3. 4. 16	塩尻市	SIer 第3回見学・研修会(日邦バルブ)	12
3. 5. 6	松本市	事務局会議②	8
3. 6. 14	松本市	事務局会議③	10
3. 7. 12	松本市	工程改善セミナー①	21
3. 7. 16	松本市	工程改善セミナー②	38
3. 7. 19	松本市	ネットワーク会議研究会	8
3. 8. 10	松本市	事務局会議④	7
3. 8. 30	松本市	自動化診断	7
3. 9. 10	松本市	自動化推進ネットワーク キックオフ	30
3. 9. 13	松本市	ネットワーク会議①	7
3.10. 18	松本市	ネットワーク会議②	6
3.11. 22	松本市	ネットワーク会議③	7
3.12. 20	松本市	ネットワーク会議④	6
4. 1. 31	松本市	ネットワーク会議⑤	6
4. 2. 28	松本市	ネットワーク会議⑥	6
4. 1. 18	松本市	ネットワーク会議⑦	7
4. 3. 8	松本市	工程改善セミナー実践編①	15
4. 3. 15	松本市	工程改善セミナー実践編②	11
4. 3. 28	松本市	ネットワーク会議⑧	6

Ⅲ 共同研究等推進事業

1 提案公募型研究開発プロジェクト導入支援事業

昨年、電気器具製造企業と大学とのマッチング行い、技術確立のための共同研究を行ってきたが、基礎研究が終了できず、今年度のサポイン申請を見送った。

Ⅳ 人材育成事業

1 技術者のための実務教育パワーアップ講座事業

若手技術者の設計・開発実務能力のパワーアップを支援するため研修事業を行う。
実務に直結する具体的なテーマを定め、指導経験が豊富な講師による体験的な学習を通じて研究開発型技術者としての実践力を養うための講座をオンライン開催した。

開催期日	場 所	内 容	参加者
3. 11. 11	松本市	「加工知識と設計見積り力で即戦力」 国井技術士設計事務所 所長 国井 良昌 氏	19
3. 11. 12	松本市	「図面を描く前に知っておくべき賢い機械設計の基礎レシピ」 国井技術士設計事務所 所長 国井 良昌 氏	18

2 地域企業人材挑戦力育成事業

安曇野地域の産業団体と連携して、ものづくりの高度化を志向する挑戦力のある企業人材を育成することを目的として企業訪問による支援を実施した。

開催期日	場 所	内 容	参加者
3. 6. 8	安曇野市	SDGs 個別企業相談会、現場改善 (株)シーケイテック 講師：本木顧問、鬼頭顧問（安曇野工業会）	4
3. 7. 9	安曇野市	SDGs 個別企業相談会、現場改善 (株)シーケイテック 講師：本木顧問、外部講師（安曇野工業会）	4
3. 7. 13	安曇野市	生産性向上セミナー～強い現場を構築できる人材の育成～ 「信州ものづくり革新スクールが目指すもの」 信州ものづくり革新スクール校長 森 安夫 氏 「信州ものづくり革新スクールの講義内容紹介」 ～I Eと標準作業、現場実習を中心として～ 信州ものづくり革新スクール講師 E&E Solution 代表 相吉 一浩 氏	20
3. 8. 9	安曇野市	SDG s 先行事例企業視察会 対象企業 ユアサ電器（株）	7
3. 10. 7	安曇野市	SDGs 個別企業相談会、現場改善 (株)二木工業 講師：本木顧問、鬼頭氏（安曇野工業会）	5
3. 11. 17	安曇野市	SDGs 研修会 「脱炭素社会に向けた中部電力グループの新たな挑戦」 中部電力パワーグリッド（株） 安曇野営業所 所長 倉沢 範行 氏 「二酸化炭素排出量実質ゼロ」 中部電力ミライズ 長野営業部 法人営業部 副長 降旗 由紀 氏 「長野県が掲げるエネルギー政策」 長野県環境部環境政策課 室長 柳原 健 氏	13
3. 11. 19	安曇野市	SDGs 個別企業相談会、現場改善 (株)シーケイテック 講師：本木顧問、外部講師（安曇野工業会）	4

3 「価値づくり力」パワーアップ講座事業

ユーザー視点に立ち、ユーザー課題の解決策を具現化するための試作・検証を通じて最終形に作り込むデザイン思考の考え方・手法を学ぶ。地域中小企業が自社の技術を活かした事業の拡大、付加価値の高い「もの」や「こと」づくりへと結び付けていくための人材育成を図った。

（講師：株式会社 U-NEXUS 代表取締役 上野 敏良 氏）

開催期日	場 所	内 容	参加者
3. 7. 13	松本市	「価値づくり力パワーアップ体験講座 2021」 ～環境変化の激変・不確実な時代 価値づくりのキモを学ぶ～ デザイン思考ワークショップ 1. デザイン思考とは？ 2. テーマの設定、「〇〇体験を新しくデザインする」 3つのテーマから好きなテーマを選択 3. チームに分かれてインタビュー項目の設計	16
3. 7. 20	松本市	「価値づくり力パワーアップ体験講座 2020」 ～環境変化の激変・不確実な時代 価値づくりのキモを学ぶ～ デザイン思考ワークショップ 1. インタビュー結果の共有およびチームユーザーへの「共感」 2. ニーズ及びインサイトの発見、「問題定義」	16
3. 7. 27	松本市	「価値づくり力パワーアップ体験講座 2020」 ～環境変化の激変・不確実な時代 価値づくりのキモを学ぶ～ デザイン思考ワークショップ 1. アイデア創造プロセスの実践 2. アイデアの試作「プロトタイピング」～「ユーザーテスト」	17
3. 8. 3	松本市	「価値づくり力パワーアップ体験講座 2020」 ～環境変化の激変・不確実な時代 価値づくりのキモを学ぶ～ デザイン思考ワークショップ 1. ユーザーテスト結果反映「プロトタイプ改善」 2. 発表用資料の作成および全体発表	16

4 夏休み親子ものづくり教室事業

ものづくりと科学技術に対する子供たちの関心を高めるために、長野県松本地域振興局・長野県工業技術総合センターと共同で、小中学校を対象に夏休み親子ものづくり教室を開催した。

開催期日	場 所	内 容	参加者
3. 7 月	安曇野市	夏休みおもしろ技術と子どものふれあい教室（午前、午後） 会場：(株)アズミ村田製作所 講師：(株)アズミ村田製作所社員 新型コロナウイルスの感染防止のため中止	0
3. 8 月	松本市	夏休み親子ものづくり教室、施設見学 会場：長野県工業技術総合センター 環境・情報技術部門 講師：長野県工業技術総合センター職員 新型コロナウイルスの感染防止のため中止	0

V 広報等事業

1 メール配信サービス事業

開催期日	場 所	内 容	参加者
3. 4～ 4. 3	—	経済産業省、関東経済産業局、長野県、中小企業総合事業団、通信・放送機構、科学技術振興事業団、新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）などの技術開発公募等をEメールにより情報提供	—

2 ホームページの充実

開催期日	場 所	内 容	参加者
3. 4～ 4. 3	—	財団（地域センター）の概要、事業、会員募集、実施状況等を掲載	—

参加者計（延べ） 1, 144名

〔諏訪テクノレイクサイド地域センター〕

I 産学官交流事業

1 広域産学官交流ネットワーク事業

当地域産業界が力を入れている技術分野にポイントを絞り、関連する技術シーズを紹介する場を提供した。

開催期日	場 所	内 容	参加者
3. 12. 10	岡谷市 (会場及び オンライン)	ものづくり企業にとって有用な技術に関して講演会を開催。 「DX (デジタルトランスフォーメーション) に対応するために 我々は何をすべきか」 公立諏訪東京理科大学 情報応用工学科 准教授 山口 昌樹 氏 「ステンレスの結晶微細粒化と超精密加工の応用による医療 機器などへの展開～横断的産学連携と両利きの経営～」 (株)小松精機工作所 専務取締役 小松 隆史 氏 「目視検査で不良品の見逃しを発生させない3つの キーワード～察知・精査・証明～」 香川大学 名誉教授 石井 明 氏	84

2 諏訪圏工業メッセ2021事業

諏訪圏工業メッセの主催構成団体の一員として開催に向け準備を行ってきたが、新型コロナウイルス感染拡大の懸念から諏訪圏工業メッセはオンラインのみの開催となった。DTF国際ワークショップはオンラインを活用し開催した。

開催期日	場 所	内 容	参加者
3. 10. 13	岡谷市 (会場及び オンライン)	[DTF 国際ワークショップ] 中国、台湾、タイ、インドネシアとオンラインで繋ぎ各国の最新 状況を講演頂き、パネルディスカッションを実施した。 「コロナ禍における在インドネシア日系企業の最近の動向」 ジェトロジャカルタ アドバイザー 中沢 稔 氏 「中国経済および長野県進出企業の動向」 八十二銀行 上海駐在員事務所 所長 中沢 成樹 氏 「各国の現況について」 ・〈中国〉大雅精密機械有限公司 総経理 久保田 剛 氏 ・〈台湾〉台湾野村股份有限公司 総経理 林 清醮 氏 ・〈タイ〉HIRAIDE PRECISION (THAILAND) CO., LTD マネージングダイレクター 増澤 恒明 氏 「パネルディスカッション」	67

3 圏域内アドバイザー・コーディネータ連携事業

市町村・商工団体に所属するアドバイザーやコーディネータ及び関係機関の相互の連携を強化し、圏域内の産学官連携事業を支援するための連絡会議を開催した。

開催期日	場 所	内 容	参加者
3. 7. 12	諏訪市	第1回連絡会議 ・経済産業省の各種施策紹介 ・日本貿易振興機構からの情報提供 ・R3年度長野県の工業施策について ・R3年度諏訪テクノレイクサイド地域センターの事業について ・R3年度ものづくり推進機構事業計画及び工業メッセ2021 について ・アドバイザー・コーディネータ情報交換	29

3. 9. 28	諏訪市	第2回連絡会議 ・諏訪圏工業メッセ2021開催内容について ・アドバイザー・コーディネータ情報交換	18
4. 2. 25	オンライン	第3回連絡会議 ・経済産業省支援施策等について ・R3年度の活動報告及びR4年度の事業について 各機関より ・アドバイザー・コーディネータ情報交換	22

Ⅱ 新産業創出支援事業

1 コーディネート活動事業

開催期日	場 所	内 容	件数
3. 4. 1 ～ 4. 3. 31	諏訪市他	活動実績 ・企業調査 37件 ・大学・公設試験場等シーズ調査 9件 ・研究会開催 93件 ・その他活動開催 20件 活動成果 ・共同研究成立 1件 ・提案公募型助成制度等提案支援 2件	—

2 DTF研究開発事業

オンラインを活用し講演会を中心に全体研究会を開催した。また、スマートファクトリー分科会及び医療分科会にて技術開発・製品開発を進めた。

開催期日	場 所	内 容	参加者
3. 5. 20	岡谷市 (会場及び オンライン)	第129回研究会 《定期総会・記念講演》 「“3Dデジタル生産技術実装化拠点”の紹介」 長野県工業技術総合センター 材料技術部門 研究企画員 安澤 真一 氏 「超精密電子モジュール地域共創開発拠点」計画の紹介 長野県工業技術総合センター 精密・電子・航空技術部門 部門長 石黒 周司 氏	24
3. 7. 15	岡谷市 (会場及び オンライン)	第130回研究会 「アイデアを形にする」 インダストリーネットワーク(株)代表取締役 大橋 俊夫 氏 「多品種小ロットの観点から考える Desk Top 画像検査装置」 野村ユニソン(株) 執行役員 小泉 瑞生 氏	30
3. 9. 15	岡谷市 (会場及び オンライン)	第131回研究会 「経済性による最適化の考え方について」 信州大学 理学部 特任教授 岩下 幸廣 氏 「製造現場のIoT化支援とつながる工場の研究について」 産業技術総合研究所 インダストリアルCPS研究センター つながる工場研究チーム 研究チーム長 古川 慈之 氏	26
3. 9. 24	オンライン	第132回研究会 「企業がDXに取り組むべき理由と製造業におけるDX」 DXTコンサルティング(株) 代表取締役 兼安 暁 氏	23
3. 11. 18	岡谷市 (会場及び オンライン)	第133回研究会 会員企業からの最新業界情報提供及びディスカッション	19

開催期日	場 所	内 容	参加者
4. 3. 3	諏訪市 (会場及び オンライン)	第 134 回研究会 《関東経済産業局からの情報提供》 経済産業省関係の令和 3 年度補正予算及び令和 4 年度予算 「MT 法による簡易 A I システム」 信州大学 理学部 特任教授 岩下 幸廣 氏	21
通年	岡谷市 他	幹事会 13 回開催	延 113
通年	岡谷市	分科会活動 スマートファクトリー分科会開催 6 回 医療分科会開催 11 回	延 48 延 58

3 材料研究開発事業

材料の特徴を活かし、企業競争力を向上させるため、研究材料を超微細粒鋼とコバルトクロム合金に絞り、実用化研究を推進した。また、講演会による材料技術のレベルアップを図った。

開催期日	場 所	内 容	参加者
3. 7. 9	オンライン	第 1 回研究会 「金属材料の高圧水素ガス環境中における強度特性」 九州大学大学院 工学研究院 機械工学部門 教授 松永 久生 氏	21
3. 9. 24	オンライン	第 2 回研究会 「長野県における結晶微細粒化材料の開発の経過と 医療機器展開やゼロカーボン市場への最新情報」 (株)小松精機工作所 専務取締役 小松 隆史 氏 「結晶微細粒化金属の研磨特性」 (株)松一 代表取締役社長 松澤 正明 氏	17
3. 11. 2	オンライン	第 3 回研究会 「高効率モータとアモルファス合金」 日立金属(株)グローバル技術革新センター 佐野 博久 氏	18
4. 2. 10	オンライン	第 4 回研究会 「形状記憶合金と耐疲労 Co-Cr-Mo-Ni 系合金」 物質・材料研究機構 グローバル中核部門 若手国際研究センター センター長 土谷 浩一 氏	22

4 環境・エネルギー技術研究開発事業

再生可能エネルギーの効率的な利用技術に関する情報収集と個別研究推進。

SEE(Smart Environment and Energy)研究会の水処理プロジェクトで開発した耐塩素性細菌除去用浄水装置を茅野市及び公立諏訪東京理科大学の協力のもと、茅野市高部配水池で実用試験を実施。
個別プロジェクト：水処理、熱利用、太陽光、小水力発電、バイオマス

開催期日	場 所	内 容	参加者
4. 2. 21	オンライン	第 1 回全体研究会 水素エネルギー講演会(ZOOMにより実施) 「水素利活用に向けた動向」 国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構 燃料電池・水素室 室長 大平 英二 氏 「カーボンニュートラルの実現へ！山梨県における水素エネルギー社会の実践と YHC によるエネルギー需要転換への挑戦」 山梨県企業局新エネルギーシステム推進室 副主幹 坂本 正樹 氏	43

開催期日	場 所	内 容	参加者
4. 3. 2	甲府市	第2回全体研究会 水素エネルギー関連施設見学会 水素エネルギー施設の視察を通じた水素エネルギーの現状理解を目的として、下記日程にて実施。コロナの状況を踏まえ人数を絞り込んで実施した。水素エネルギー講演会との組み合わせた見学会により、現状への理解を深めることができた。 日 程 令和4年3月2日（水）8：30～15：35 見学施設 米倉山エネルギー施設 イワタニ水素ガスステーション甲府	6
通年		分科会活動(個別研究テーマ等) ・個別研究会(水処理、熱利用、太陽光、小水力発電、バイオマス) 19回	延 185

Ⅲ 共同研究等推進事業

1 提案公募型共同研究開発プロジェクト導入支援事業

1件のテーマについて公募申請を行ったが、不採択となった。
令和4年度サポイン公募に向け、2社の支援を開始。

2 提案公募型研究開発プロジェクト運営事業

前年からの継続テーマについて、事業管理機関として事業の管理、推進を行った。

制度名	テーマ名	所管省庁等
戦略的基盤技術高度化支援事業	・産業設備、インフラ、車輛等の無線によるIoT化を実現する小型ハーベスティングセンサーとデータ処理システムの開発【日本ミクロン(株)、県工技センター、信州大学】	経済産業省 関東経済産業局

3 提案公募型研究開発プロジェクトフォローアップ事業

終了テーマについてその後の実施状況のフォローを行った。

制度名	テーマ名	所管省庁等
戦略的基盤技術高度化支援事業	青色LEDを用いた高効率シキミ酸新規製法の開発と実用化技術の開発【三栄製薬(株)、信州大学】	経済産業省 関東経済産業局

Ⅳ 人材育成事業

1 幾何公差実践研究会

幾何公差の考え方と使い方を学び、実践能力を向上させることで、高品質で低コストなものづくりに寄与できる人材の育成を行った。(講師 CDT研究所 中村 哲夫 氏)

開催期日	場 所	内 容	参加者
3. 7. 27 ～ 3. 12. 6 (全 12 回)	岡谷市	講師 CDT研究所 中村 哲夫 氏 第1回研究会～第8回 (座学) 幾何公差の基本 ・幾何公差は何故必要か ・寸法と寸法公差 ・幾何公差の種類と幾何特性 ・幾何公差域の指示方法 ・幾何公差図示の基本 ・データム系の基本と構築など 第9回研究会～第12回 (各社から提供の図面による実習) ・幾何公差方式の実践事例研究 (図面指示に起因する諸問題の検討)	延 166

2 品質工学研究会

短期間で技術開発を行い商品設計に繋げることのできる人材を育成するための研修会を開催した。

開催期日	場 所	内 容	参加者
3. 6. 4	岡谷市 (オンライン)	品質工学導入講習会 ・品質工学の基本的考え方 ・MTシステム、等の紹介 講師 (有)増田技術事務所 代表取締役 増田 雪也 氏 講師 東京エレクトロンT S(株) 中山 博之 氏 講師 信州大学理学部 特任教授 岩下 幸廣 氏	32
3.11. 5	塩尻市	ものづくりにおけるデータ分析入門セミナー ～タグチメソッドMTシステムの活用～ ・新しいデータ処理方法 (MTシステム) の概要 ・MT法の計算、事例、計算演習 ・T法の計算、事例、演習 ・定性データの数量化 講師 信州大学理学部 特任教授 岩下 幸廣 氏	14
3.12.22 ～ 3.12.23	塩尻市	パラメータ設計基礎セミナー ・品質工学の考え方 ・パラメータ設計の基礎、計算方法 ・紙飛行機による実習 ・最適化条件の抽出と再現性確認 講師 KOA 株式会社 守谷 敏 氏	16
4. 2.10	岡谷市 (オンライン)	品質工学実践交流大会 《事例発表》3件 発表者 (株)サンコー 井上 貴裕 氏 発表者 長野県工業技術総合センター 古布 諭 氏 発表者 長野県工業技術総合センター 児野 武郎 氏 《基調講演》 講演者 YKK 株式会社 畠山 鎮 氏	22

3 環境対応技術研究会

企業活動における環境負荷低減を行える人材の育成を行うと共に個別企業の成果事例共有を行った。

開催期日	場 所	内 容	参加者
3. 6.10 3. 6.17 3. 6.24	松本市 オンライン	省エネ 第1回：断熱基礎理論、省エネ効果予測計算 第2回：空調基礎理論、コンプレッサ基礎理論 第3回：生産機械基礎理論、照明基礎理論 指導 省エネコンサルタント 竹村 雅志 氏	20 20 20
3. 7. 1	松本市	生産現場のエネルギーの見える化実習 ・コンプレッサ圧力設定変更 ・エア漏れ量測定 ・コーナー配管による圧損 ・真空エジェクタと真空ポンプ比較 ・増圧弁使用のメリット・デメリット 指導 省エネコンサルタント 竹村 雅志 氏	10
3. 7. 8	松本市 オンライン	第4回：MFC A基礎 ・MFC A集計、分析演習 講師 MFC A研究所 代表 安城 泰雄 氏	20

3. 7. 15	松本市 オンライン	第5回：環境効率評価 ・環境効率の概要、製品への環境効率の適用 ・環境負荷評価～LCAの初歩～ 講師 信州大学理学部 特任教授 岩下 幸廣 氏 講師 東京都市大学環境学部 教授 伊坪 徳宏 氏	21
3. 9. 2	駒ヶ根市	個別事例研究 / (株)塩澤製作所(駒ヶ根市) ＜省エネテーマ＞ コンプレッサ運用改善の取り組み	9
3. 10. 18	〃	第1回：テーマ選定、現場調査による問題点拾い上げ	9
3. 12. 6	〃	第2回：現状把握・調査結果による問題点の絞り込みと方向付	9
4. 1. 25	オンライン	第3回：問題対策後の改善効果確認と残課題の方向付 第4回：残課題の現状把握と最終まとめ	10
4. 3. 14	松本市 (オンライン)	工場エネルギー使用合理化成果発表会 ・事例発表3件 発表者 エア・ウォーター・マッハ(株) 発表者 (株)プリマ 発表者 (株)塩澤製作所	105

4 新商品開発・製品サービス研究会

商品開発アプローチや手法について基礎知識習得のためのセミナーを開催するとともに、企業での実践研究を実施し、効率よく商品開発を推進できる技術者を育成した。

(講師、指導：ラーチマネージメントリサーチ 代表 村岡 正一 氏)

開催期日	場 所	内 容	参加者
3. 6. 15	長野市 オンライン	第1回：ニーズを踏まえた新商品開発 ・新商品開発のポイント ・マーケティング ・顧客ニーズの整理	9
3. 6. 22	オンライン	第2回：製品サービス設計の進め方 ・生産性向上ガイドライン ・サービス化の要件 ・顧客のセグメンテーション化	8
3. 6. 29	オンライン	第3回：新商品開発ワークショップ ・ワークショップⅠ：言語データの整理と展開	8
3. 7. 6	オンライン	第4回：製品サービス設計 ・メンテナンス最適化の考え方と進め方	8

V 広報等事業

1 情報交流、提供事業

テクノ財団が実施する事業や国等の施策に関する情報をホームページやメール配信にて提供を行った。

参加者計（延べ） 1, 430名

[伊那テクノバレー地域センター]

I 産学官交流事業

1 伊那谷アグリイノベーション推進機構連携事業

信州大学農学部から提供される技術シーズを活用した新産業創出や地域産業の活性化に向けた活動を、伊那谷地域の産学官で構成する「伊那谷アグリイノベーション推進機構」と連携して行った。新型コロナウイルス感染症の影響により、総会は6月に書面評決にて実施した。

開催期日	場 所	内 容	参加者
3. 7. 27	駒ヶ根市	第5回 薬草・薬木勉強会	24
3. 11. 23	伊那市	第18回シンポジウム「食品と健康について」(共催) 「クロモジの機能性について」 信州大学 農学部 准教授 河原 岳志 氏 「凍り豆腐由来レジスタントプロテインの免疫機能に及ぼす効果」 信州大学 農学部 准教授 田中 沙智 氏 パネルディスカッション	80
3. 12. 8	南箕輪村	令和3年度助成成果発表会・各種勉強会発表会	25
4. 3. 3 ～ 3. 4	南箕輪村	第5回 菌類勉強会	22

2 次世代経営者による異業種交流会

次世代を担うものづくりの経営者が、自社の課題解決や提携したい案件の情報収集等を行う情報交換会を、オンラインを活用するなどコロナ禍において可能な方法で開催した。また、講演会を通して、企業経営に有益な情報やノウハウを学ぶ機会を作るとともに、参加者の交流を通じて新ビジネス分野や新技術分野で連携できるテーマを見つけ、連携プロジェクトを企画・実施することに資するネットワーク形成に役立てた。

開催期日	場 所	内 容	参加者
3. 4. 27	伊那市	通常総会	26
3. 7. 19	伊那市	定例会(第1回) 情報交換会 取り組み事例発表 (第1回) ナパック株式会社 代表取締役社長 鈴木 隆 氏 講演「長野県ものづくり製品オンライン発信サイト “Techno Reach Nagano”について」 公益財団法人長野県中小企業振興センター マーケティング支援センター主査 五味 寛敏 氏	27
3. 12. 7	オンライン	定例会(第2回) 講演会・情報交換会 (共催) 講演「中小企業にも求められる脱炭素経営」 合同会社SECA代表 則武 祐二 氏	22
3. 12. 14	伊那市	セミナー・営業担当者情報交換会 講演「企業のPR動画の作成及び活用について」 有限会社スワニー 代表取締役 橋爪 良博 氏	13
4. 2. 24	伊那市 (会場及びオンライン)	定例会(第3回) 講演会・情報交換会 講演「信州Greenでんきのご紹介」 中部電力ミライズ(株) 法人営業部主任 山田 宗隆 氏 「経営者にお伝えしたいプロ人材拠点の活用について」 講師 長野県プロフェッショナル人材戦略拠点 サブマネージャー 須田 浩路 氏	20
4. 3. 23	伊那市	役員会	14

Ⅱ 新産業創出支援事業

1 コーディネート活動事業

新型コロナウイルス感染症の影響で、産学官の交流イベントや大学・研究機関等のセミナーや研究事例発表が中止となり、また企業訪問も難しい状況であったが、オンラインやメールを活用するなどして技術シーズ・企業ニーズの収集を行なった。また業界の技術動向等の把握については、移動の制限により展示会などへの参加ができない中、オンラインによるセミナーや展示会を活用して情報収集に努め、地域企業の課題解決のための企画立案や情報提供に役立てた。また、企業などの研究開発に対して、提案公募型助成制度の活用等を支援し、新技術・新商品開発、販路開拓等を促進した。

開催期日	場 所	内 容	参加者
3. 4 月 ～ 4. 3 月	伊那市 他	活動実績 企業訪問 122 件 大学、公設試験場等訪問 28 件 研究会開催 76 件 提案公募等支援件数 5 件 活動成果 事業化・製品化 1 件 ・ものづくり補助金申請支援、採択 0 件 ・戦略的基盤技術高度化支援事業申請、採択 3 件 事業管理機関として事業支援・管理を実施	—

2 信州機能性食品開発研究会

信州大学農学部と連携し、食品関連企業の効果的な新技術・新商品開発の促進を支援することや、研究会を通して大学や企業の機能性食品に係る研究動向や新たな技術シーズ、最新の機能性食品の開発事例等を紹介し、県内関連企業の機能性食品開発の活性化を目指す。今年度は、オンライン方式で研究会を3回開催した。

開催期日	場 所	内 容	参加者
3. 6. 15 ～ 3. 6. 28	インターネ ット表決	令和3年度総会実施（議決日：R3. 6. 28）	75
3. 8. 26	オンライン	第1回研究会（第7回「食」と「健康」ラボ研究会） 「イソフラボン機能強化味噌製造用スターター乳酸菌株の取得について」 信州大学農学部 准教授 河原 岳志 氏 他2講演	73
3. 12. 17	オンライン	第2回研究会 「ポリフェノールの健康効果におけるプロアントシアニジンの位置付け」 芝浦工業大学システム理工学部 教授 越阪部 奈緒美 氏 他2講演	58
4. 2. 18	オンライン	第3回研究会 「新型コロナウイルス SARS-CoV-2 の感染の仕組みとプロシアニジンによる感染抑制作用」 信州大学先鋭領域融合研究群バイオメディカル研究所 教授 真壁 秀文 氏 他1講演	57

3 伊那バレー・オープンイノベーション事業

新技術や新工法の習得により、新しい地域産業の創出を図ることを目的とした研究開発テーマの発掘と支援を行った。また、地域企業が持つ固有技術やノウハウの連携を促進させることで、

新たな伊那バレー産業の創出と既存産業の活性化を目指すとともに、地域の病院と企業との医工連携を促進し、ものづくりによる医療現場での課題解決に取り組んだ。

開催期日	場 所	内 容	参加者
3. 4. 20	伊那市	第 26 回 研究会	16
3. 7. 6	伊那市	第 27 回 研究会	12
3. 10. 5	伊那市	第 28 回 研究会	13
3. 12. 13	伊那市	第 29 回 研究会	12
4. 1. 28	オンライン	第 4 回 医工連携検討会	14

4 スマート看護・福祉研究会

地域の病院や看護大学、福祉機器を開発している企業等と連携して、新たなリハビリテーション用の器具等の開発・試作を行い、迅速・安価に供給するシステムを確立し、ADL（日常生活動作）支援のための器具等の供給ビジネスを地域産業として創出する活動を行った。

開催期日	場 所	内 容	参加者
3. 6. 23	駒ヶ根市	第 49 回 研究会 看護（介護）用椅子 2 次試作品に関する検討	10
3. 8. 18	駒ヶ根市	第 50 回 研究会 看護（介護）用椅子 2 次試作品に関する検討	8
3. 11. 4	駒ヶ根市	第 51 回 研究会 看護（介護）用椅子 2 次試作品に関する検討	9
3. 12. 10	長野・上田	新技術の動向及び ADL 製品開発に関するセミナー 県工業技術総合センターおよび AssistMotion(株)見学	2
3. 12. 21	茅野市	(有)スワニー茅野ファクトリー カーボン 3D プリンター見学	8
4. 2. 8	オンライン	第 52 回 研究会 看護（介護）用椅子 2 次試作品に関する検討	10
4. 2. 18	オンライン	ADL 製品開発支援セミナー（共催） 「～介護市場の現場ニーズとこれから求められる R&D～ 新たな介護のための現状と課題」 SOMPO ホールディングス（株）Future Care Lab in Japan R&D 責任者 芳賀 沙織 氏	23
4. 3. 18	オンライン	第 18 回 長野県看護大学研究集会 出展参加	10

Ⅲ 共同研究等推進事業

1 提案公募型等研究開発プロジェクト導入支援事業

サポインの公募申請 1 件は不採択となったが、ゼロカーボン補助金申請は 1 件採択された。

制度名	テーマ名	所管省庁等
ゼロカーボン技術 事業化支援補助金	微細放熱フィン一体型パワーモジュール用金属基盤の製造技術 開発	長野県テクノ財 団

2 提案公募型等研究開発プロジェクト運営事業

採択された研究開発プロジェクトに対し、研究活動の推進、進捗管理を行った。

制度名	テーマ名 [研究機関]	所管省庁等
戦略的基盤技術 高度化支援事業	軸姿勢検出機能を有する中空大型の 3D 高機能ロータリエンコーダの開発 [エ・モーションシステム(株)、多摩川精機(株)、産業技術総合研究所]	経済産業省 関東経済産業局
〃	アモルファス金属ガラス溶射を用いた磁歪式トルクセンサの開発 [多摩川精機(株)、信州大学]	〃
〃	超精密膜厚制御による放射光施設用フリーフォーム型 X 線ミラーの開発 [夏目光学(株)、東京大学]	〃

3 提案公募型等研究開発プロジェクトフォローアップ事業

終了したサポイン事業について、補完研究や事業化に向けた取り組み等に対し支援した。

- (1) 電気自動車向け IGBT 用高性能ヒートシンク成形用金型の開発
- (2) 温間順送複合プレスによる難加工材の高効率生産技術開発
- (3) 高効率・高精度回転体型 X 線ミラーの製造技術の開発
- (4) 回転軸の軸ガタ検出機能を付加した自己校正型ロータリエンコーダの開発
- (5) 航空機用先進熱制御システム用ヒートシンクの製造技術開発
- (6) 航空機用燃料非接触防爆型油量計システムの研究開発

IV 人材育成事業

1 地域産業活性化支援事業

地域協議会等を通じて把握した支援ニーズや、地域の産学官が抱える課題に対応するため、財団が持っているネットワークやノウハウを活用して、地域の産業振興や地域の将来を担う人材の育成等に取り組んだ。

開催期 日	場 所	内 容	参加者
3. 7. 21	伊那市	伊那市商工業振興審議会 工業部会および企業訪問 全 3 回	(延 3)
3. 6. 28	伊那市	伊那市新産業技術推進協議会 スマート工業部会 全 5 回	(延 5)
3. 5. 24	伊那市他	郷土愛プロジェクト全体会議および委員会 全 7 回	(延 7)
3. 10. 19	オンライン	キャリア教育産学官交流会 (協力)	(220)
3. 9. 15	伊那市	INA Valley 産業支援ネットワーク会議 全 1 回	(延 1)
3. 9. 4	伊那市	ハッカソン in 伊那「ものづくり現場の伝承」開催 全 2 回 (協力)	(延 24)
3. 7. 13	伊那市	伊那市「IoT 導入人材育成講座」開催 全 8 回 (協力)	(延 68)
3. 7. 7	伊那市	上伊那ワンストップハブ会議 全 2 回	(延 2)

2 伊那テク・ハイテクセミナー

地域産業の高度化と新産業の創出に関して、グローバルな競争力強化に寄与できる人材育成を図るため、電動化に向けて 100 年に一度の大変革期を迎えている自動車産業と、「空の産業革命」と言われているドローン産業について、最新状況を紹介するセミナーを開催した。

開催期 日	場 所	内 容	参加者
3. 11. 22	伊那市 (会場及び オンライン)	自動車産業動向セミナー 「自動車産業のカーボンニュートラル実現に向けて」 関東経済産業局 製造産業課 航空宇宙・自動車産業室 係長 早乙女 孟 氏 「県内製造業の自動車産業への参入状況と電動化への対応」 (一財)長野経済研究所 調査部 産業調査グループ 研究員 佐藤 翔胤 氏	47
4. 2. 21	オンライン	ドローン産業動向セミナー 「ドローンの産業振興に向けた取り組み」 経済産業省 次世代空モビリティ政策室長 宇田 香織 氏 「伊那市におけるドローン活用の状況と今後の展開」 伊那市 企画部 企画政策課長 三澤 豊 氏 「伊那市物流サービスを支えるスマートドローンプラットフォームの紹介」 KDDI 株式会社 開発ビジネス部マネージャー 立岩 正之 氏 「長野県におけるドローン開発の最新状況と今後の展望」 VFR 株式会社 代表取締役社長 湯浅 浩一郎 氏	31

3 ロボット導入支援事業

地域の製造業におけるロボット導入・自動化への支援活動として、IE 手法を使った課題分析や現場改善ができる人材を育成するため、地域企業向け IE セミナー（導入編、実践編）とデモ機を体験していただく「からくり展」を開催した。

開催期日	場 所	内 容	参加者
3. 8. 4	伊那市 (会場及び オンライン)	ロボット導入支援セミナー ～IE 講座（工程改善セミナー：導入編）～ E&E ソリューション代表 相吉 一浩 氏	23
3. 10. 26	伊那市	ロボット導入支援セミナー（キャラバンカー展示） ～IE 講座（SUS 様による「からくり展」）～ SUS 株式会社	21
3. 12. 15 3. 12. 21	伊那市	ロボット導入支援セミナー ～IE 講座（工程改善セミナー：実践編）～ E&E ソリューション代表 相吉 一浩 氏	延 20

4 リサイクルシステム研究会

例年実施している「天竜川水系環境ピクニック（河川敷清掃）」は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止した。定例会については、オンラインを併用する形で開催した。現在の事業の中心である自然エネルギーの利用促進と伊那谷地域におけるエネルギー地産地消モデル構築の活動として、脱炭素化や再生可能エネルギーをテーマに 3 回のセミナーを開催したほか、先進的な取組を行っている事例の視察をおこなった。また、県・市町村などの行政機関や経済・商工団体などとの意見交換・情報交換を通してネットワークづくりを進めた。

開催期日	場 所	内 容	参加者
3. 4. 22	伊那市	第 1 回 定例会	15
3. 5. 19	飯田市	南信州振興局・飯田市環境モデル都市推進課との情報交換会	4
3. 5. 26	伊那市	上伊那振興局・伊那市生活環境課との情報交換会	3
3. 5. 31	伊那市	伊那市新産業技術推進協議会サステナブル環境部会	3
3. 6. 5	天竜川 水系	第 18 回 身近な水環境の全国一斉調査参加 10 か所	7
3. 6. 21	伊那市	長野県ゼロカーボン戦略の勉強会	15
3. 7. 6	伊那市	長野県知事との懇談会	21
3. 7. 20	伊那市	第 2 回 定例会	15
3. 7. 30	飯田市	飯田地域ぐるみ ISO 研究会との情報交換会	12
3. 8. 23	伊那市	伊那谷ゼロカーボンセミナー ～持続可能な地域を目指して～ 「2050 ゼロカーボン実現に向けて」 長野県環境部ゼロカーボン推進室室長 柳原 健氏 「ドイツにおける市民エネルギー組合及びシュタットベルケから 私たちが学ぶべきこと」 飯田市環境モデル都市推進課長 田中 克己氏	65
3. 10. 20	伊那市	第 3 回 定例会	17
3. 11. 8	伊那市	脱炭素経営セミナー （共催） 「中小企業にも求められる脱炭素経営」 合同会社 SECA 代表 則武 祐二 氏	46
3. 11. 18	長野市・小 諸市	再生可能エネルギー利用先進地視察 ①長野市いづなおやまの発電所 ②小諸市浅麓汚泥再生処理センター	10
3. 11. 29	伊那市	伊那市新産業技術推進協議会サステナブル環境部会	3
3. 12. 4 ～ 5	飯田市	南信州環境メッセ 2021 出展参加	7

開催期日	場 所	内 容	参加者
3. 12. 15	伊那市	上伊那地域振興局・上伊那広域連合・県経営者協会上伊那支部とのゼロカーボン実現に向けた情報交換会	11
4. 1. 12	伊那市	伊那市新産業技術推進協議会サステナブル環境部会	3
4. 2. 15	オンライン	第 4 回 定例会	17
4. 3. 2	オンライン	伊那谷自然エネルギー地産地消セミナー（共催） 「カーボンニュートラル時代の森林バイオマスの役割」 東北芸術工科大学 教授 三浦 秀一 氏 「最上町の木質バイオマスエネルギーの取り組みについて」 山形県最上町交流促進課 奥山 明洋 氏	53
4. 3. 18	伊那市	伊那市新産業技術推進協議会サステナブル環境部会	3

5 子ども科学工作教室

地域の子どもたちに「科学技術」や「モノづくり」への関心を高めてもらう目的で、「子ども科学工作教室」を実施した。令和 3 年度も、新型コロナウイルス感染症対策のため、配布した工作キットを自宅で工作してもらい、工作後に感想を送ってもらう形態で実施した。今年度新たに、自宅工作で困りごとがある児童を対象に「駒工生による工作キット組立相談支援」を駒ヶ根工業高校にて実施した。また下伊那地区でも、工作キットを配布し自宅で工作してもらう方式で開催した。

（1）上伊那地区

開催期日	場 所	内 容	参加者
3. 5. 13	伊那市	上伊那広域連合（郷土愛プロジェクト）協力依頼と打合せ	3
3. 5. 18	駒ヶ根市	駒ヶ根工業高校協力依頼と打ち合わせ	4
3. 11. 1	伊那市	第 1 回実行委員会 令和 3 年度推進体制と推進計画	13
3. 11. 5	上伊那郡	上伊那郡内各市町村教育委員会訪問依頼	2
3. 12. 8	伊那市	第 2 回実行委員会 詳細スケジュールと実行委員配置確認、試組	12
3. 12. 25	伊那市 駒ヶ根市	第 21 回 上伊那子ども科学工作教室 「冬休みに自宅で “センサーロボ”を作ってみよう！」（各市役所にて配布）	94
4. 1. 8	駒ヶ根市	「駒工生による子ども達のロボット工作相談会」開催	17

（2）下伊那地区

開催期日	場 所	内 容	参加者
4. 2. 5	飯田市	令和 3 年度子ども科学工作教室「工作キット」配布 配布キットは 4 種類（プログラミングロボ、スペースロボ、 天体望遠鏡、燃料電池 4WD カー）	71

V 広報等事業

情報発信サービスの充実

利用者の利便性を図るために、テクノ財団が実施する事業や、国、県の研究開発支援制度などの情報をホームページやメール配信にて提供した。

参加者計（延べ） 1, 3 7 1 名